

豊島区立学校教員の男女平等意識に関する調査

報 告 書

(平成27年7月実施)

豊 島 区

目 次

I	調査実施の概要	1
1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	1
6	平成27年職員意識調査との比較について	1
7	回答者の属性	2
II	調査結果のあらまし	6
1	一般的な男女平等について	7
2	仕事や家庭をめぐる考え方について	13
3	男女共同参画社会に関する施策について	23
III	調査票および単純集計結果	40

平成27年10月 作成

I 調査実施の概要

1 調査目的

豊島区立学校教員の男女平等・男女共同参画社会に関する意識及び職場の状況を把握し、今後の施策推進の基礎資料とする。

2 調査内容

- (1) 一般的な男女平等について
- (2) 仕事や家庭をめぐる考え方について
- (3) 男女共同参画社会に関する施策について

3 調査設計

- (1) 調査対象者 小学校22校・中学校8校の教職員
- (2) 配布数 約650人
- (3) 調査方法 配布：学校長から対象者へ配布
回収：対象者が直接男女平等推進センターへ交換便で返送
- (4) 調査時期 平成27年7月21日～8月20日
- (5) 集計 総務部男女平等推進センター

4 回収結果

- (1) 調査対象数 約650人
- (2) 有効回答数 314人
- (3) 有効回収率 48.3%

5 報告書の見方

- (1) この報告書の中の数値は、原則として回答者総数(女性187人、男性126人、無回答1人、全体的場合は314人)を100%とした数値である。
- (2) 図表中のnとは回答者総数(または該当質問での該当者数)のことである。
- (3) 集計は小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (4) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出した。したがって複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。

6 平成27年職員意識調査との比較について

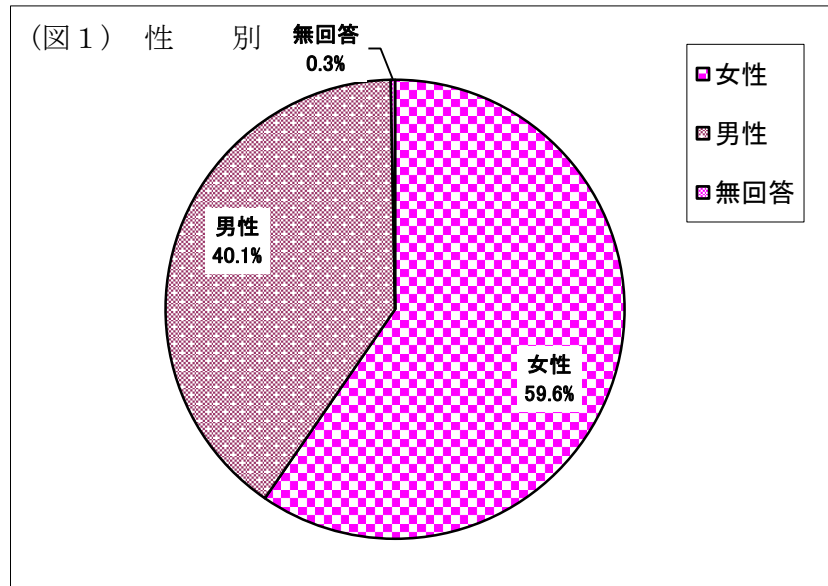
平成27年職員意識調査と内容を同じくする設問については、教員の意識動向をとらえるために職員意識調査(正規職員調査結果)との比較を行った。

7 回答者の属性

(1) 性別…女性6割、男性4割

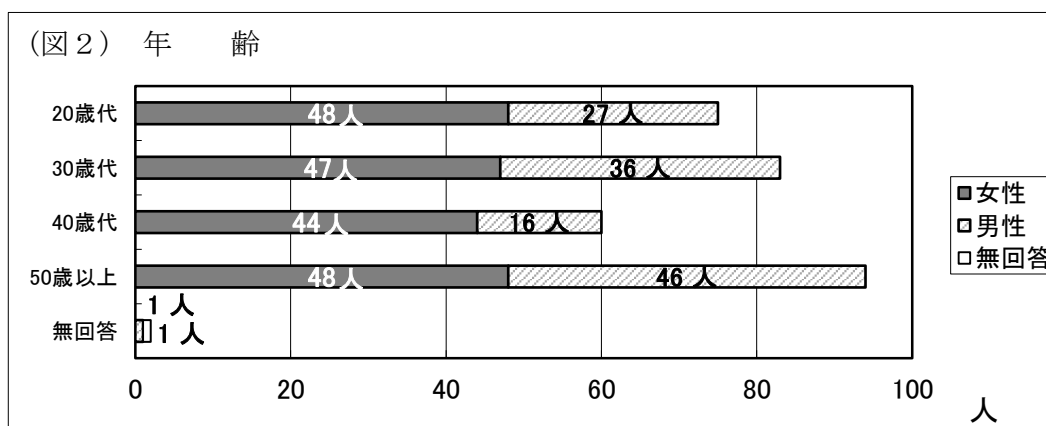
回答者314名のうち、女性は59.6%、男性は40.1%となっています。

計	
女性	187
	59.6%
男性	126
	40.1%
無回答	1
	0.3%
総計	314
	100.0%

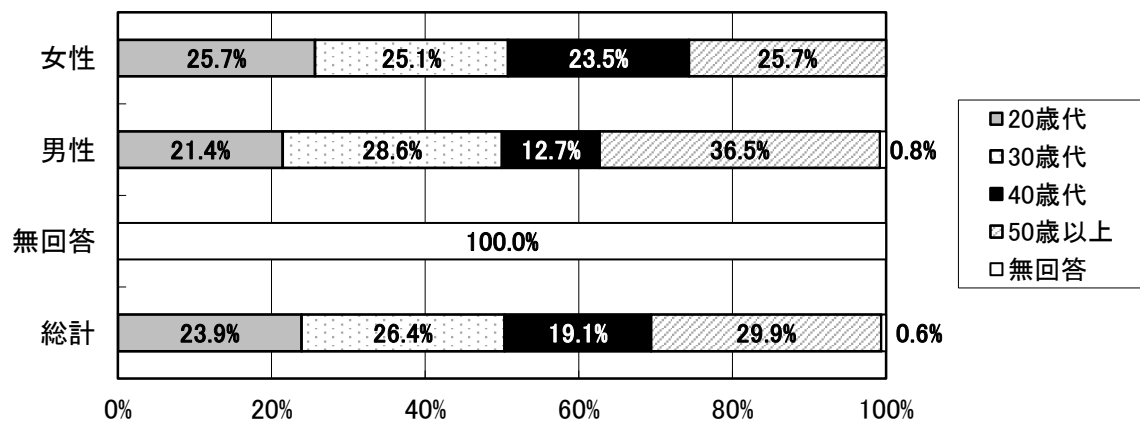


(2) 回答者年齢…40歳未満は約5割。女性・男性共、40歳代が少ない。

	女性	男性	無回答	全体
20歳代	48 25.7%	27 21.4%	0 0.0%	75 23.9%
30歳代	47 25.1%	36 28.6%	0 0.0%	83 26.4%
40歳代	44 23.5%	16 12.7%	0 0.0%	60 19.1%
50歳以上	48 25.7%	46 36.5%	0 0.0%	94 29.9%
無回答	0 0.0%	1 0.8%	1 100.0%	2 0.6%
総計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%



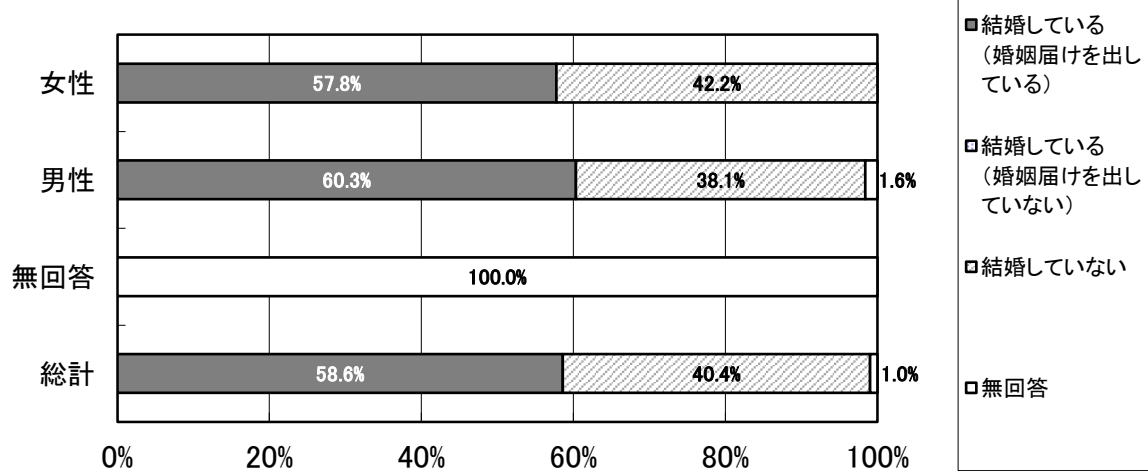
(図3) 年 齢 構 成



(3) 回答者の婚姻関係…女性は57.8%、男性は60.3%が結婚している。

	女性	男性	無回答	総計
結婚している (婚姻届けを出している)	108 57.8%	76 60.3%	0 0.0%	184 58.6%
結婚している (婚姻届けを出していない)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
結婚していない	79 42.2%	48 38.1%	0 0.0%	127 40.4%
無回答	0 0.0%	2 1.6%	1 100.0%	3 1.0%
総 計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

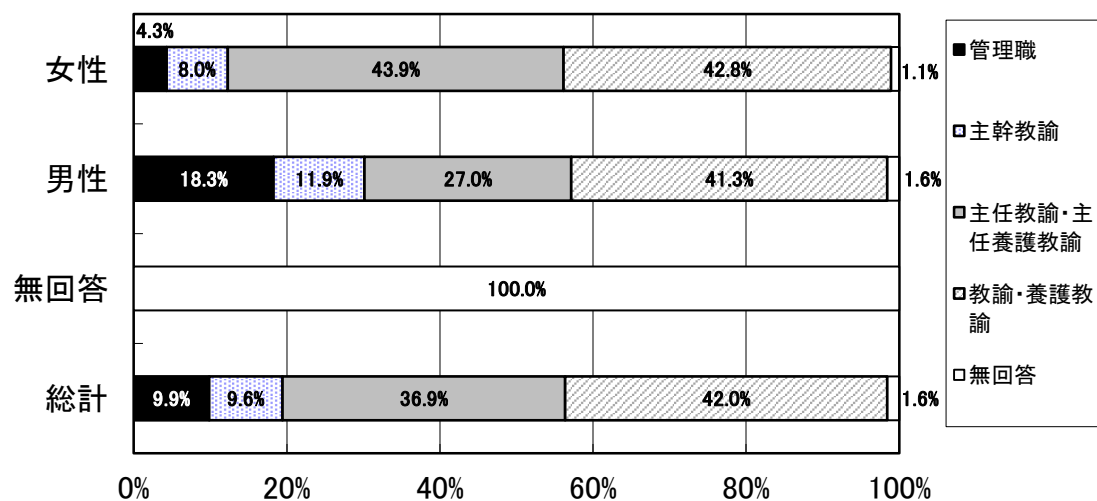
(図4) 婚姻関係



(4) 回答者職層…女性は43.9%が主任教諭・主任養護教諭。

	女性	男性	無回答	総計
管理職	8 4.3%	23 18.3%	0 0.0%	31 9.9%
主幹教諭	15 8.0%	15 11.9%	0 0.0%	30 9.6%
主任教諭・主任養護教諭	82 43.9%	34 27.0%	0 0.0%	116 36.9%
教諭・養護教諭	80 42.8%	52 41.3%	0 0.0%	132 42.0%
無回答	2 1.1%	2 1.6%	1 100.0%	5 1.6%
総 計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

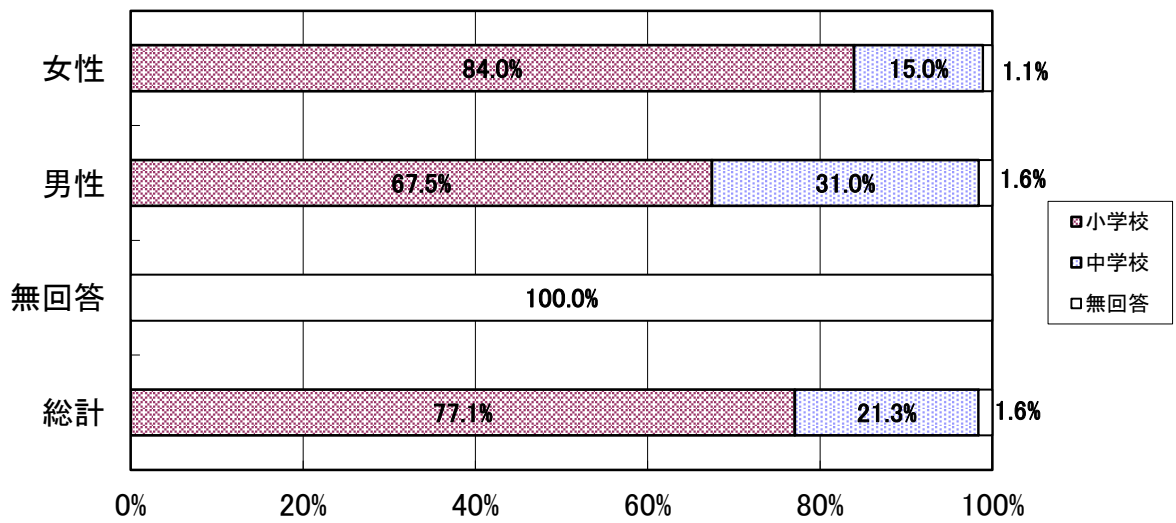
(図5) 職 層



(5) 所属学校

	女性	男性	無回答	総計
小学校	157 84.0%	85 67.5%	0 0.0%	242 77.1%
中学校	28 15.0%	39 31.0%	0 0.0%	67 21.3%
無回答	2 1.1%	2 1.6%	1 100.0%	5 1.6%
総計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

(図6) 所 属 学 校



Ⅱ 調査結果のあらまし

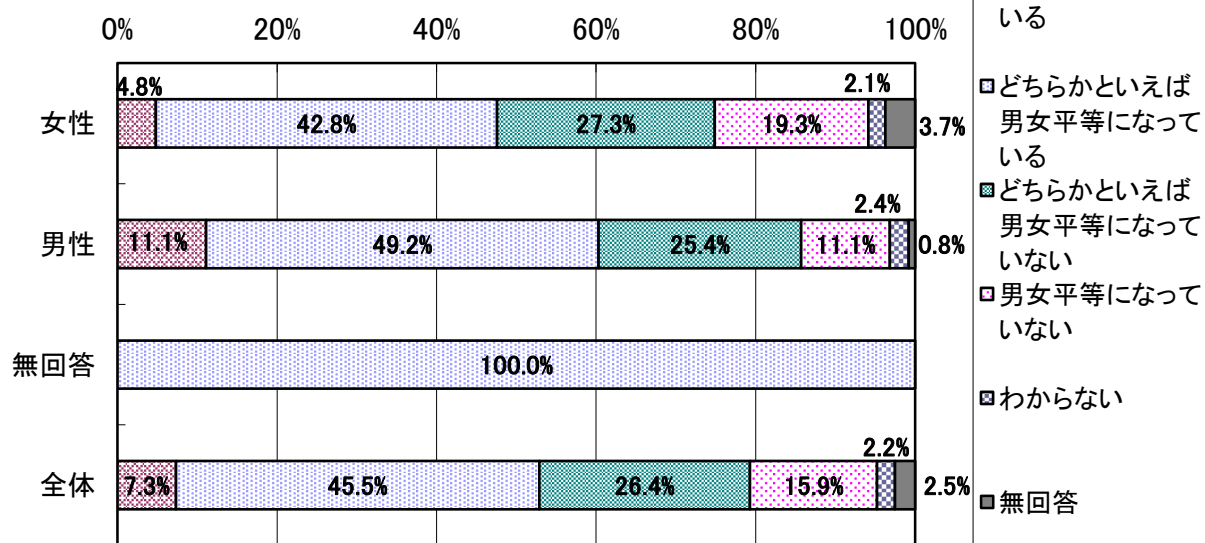
《 １ 一般的な男女平等について 》

問１ あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。（○は１つ）

	女性	男性	無回答	全体
男女平等になっている	9 4.8%	14 11.1%	0 0.0%	23 7.3%
どちらかといえば男女平等になっている	80 42.8%	62 49.2%	1 100.0%	143 45.5%
どちらかといえば男女平等になっていない	51 27.3%	32 25.4%	0 0.0%	83 26.4%
男女平等になっていない	36 19.3%	14 11.1%	0 0.0%	50 15.9%
わからない	4 2.1%	3 2.4%	0 0.0%	7 2.2%
無回答	7 3.7%	1 0.8%	0 0.0%	8 2.5%
総 計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

女性 n = 187
男性 n = 126
無回答 n = 1
全体 n = 314

<図表１－１> 男女平等観



「男女平等になっている」と「どちらかといえば男女平等になっている」を合わせた割合は女性で47.6%であるのに対し、男性は60.3%となっています。

また、職員意識調査との比較においては、女性は教員意識調査（47.6%）、職員意識調査（31.6%）と16.0ポイント、男性は教員意識調査（60.3%）、職員意識調査（50.0%）と10.3ポイント教員の方が高くなっています。

平成21年調査との比較においては、大きな差異はみられません。

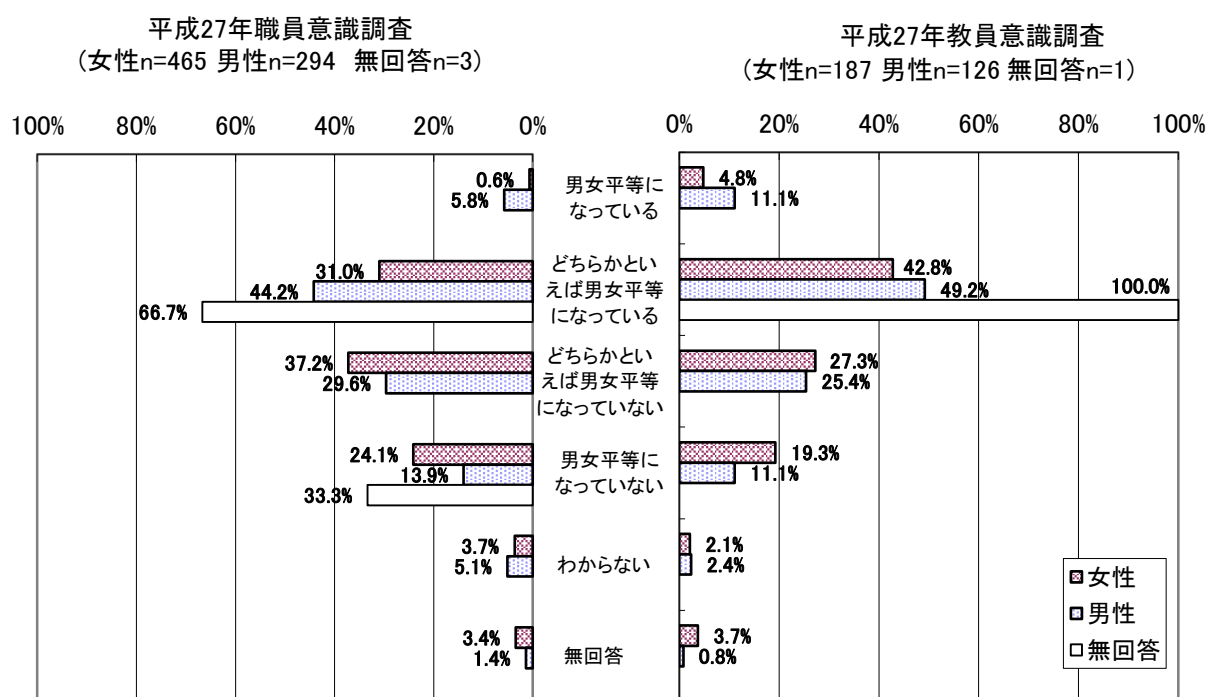
「男女平等になっていない」「どちらかといえば男女平等になっていない」を合わせた割合は女性で46.6%であるのに対し、男性は36.5%と10.1ポイント低くなっています。

また、職員意識調査との比較において、女性 は教員意識調査（46.6%）、職員意識調査が（61.3%）と14.7ポイント低く、男性は教員意識調査（36.5%）、職員意識調査（43.5%）と7.0ポイント教員の方が低くなっています。

平成21年調査との比較においては、大きな差異はみられません。

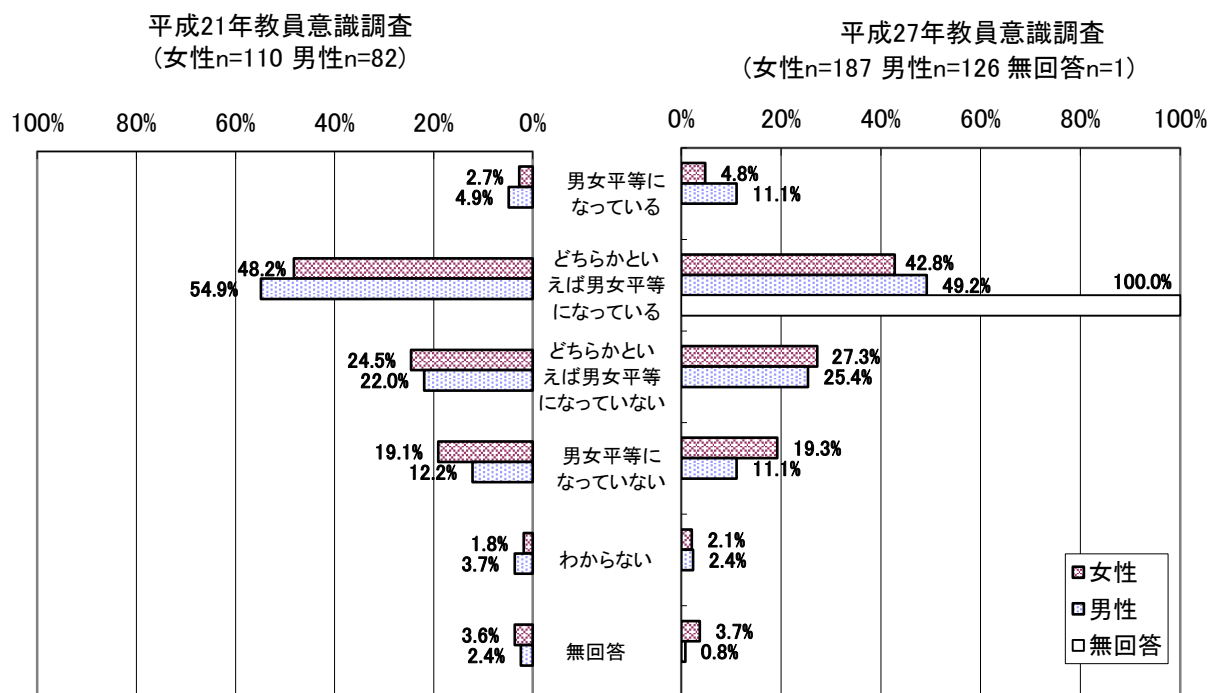
<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表1－2>



<参考>平成21年・平成27年教員意識調査との比較

<図表1－3>



問２ では、次の a～f の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。各分野ごとに、１～６の中から選んでください。（○はそれぞれ１つ）

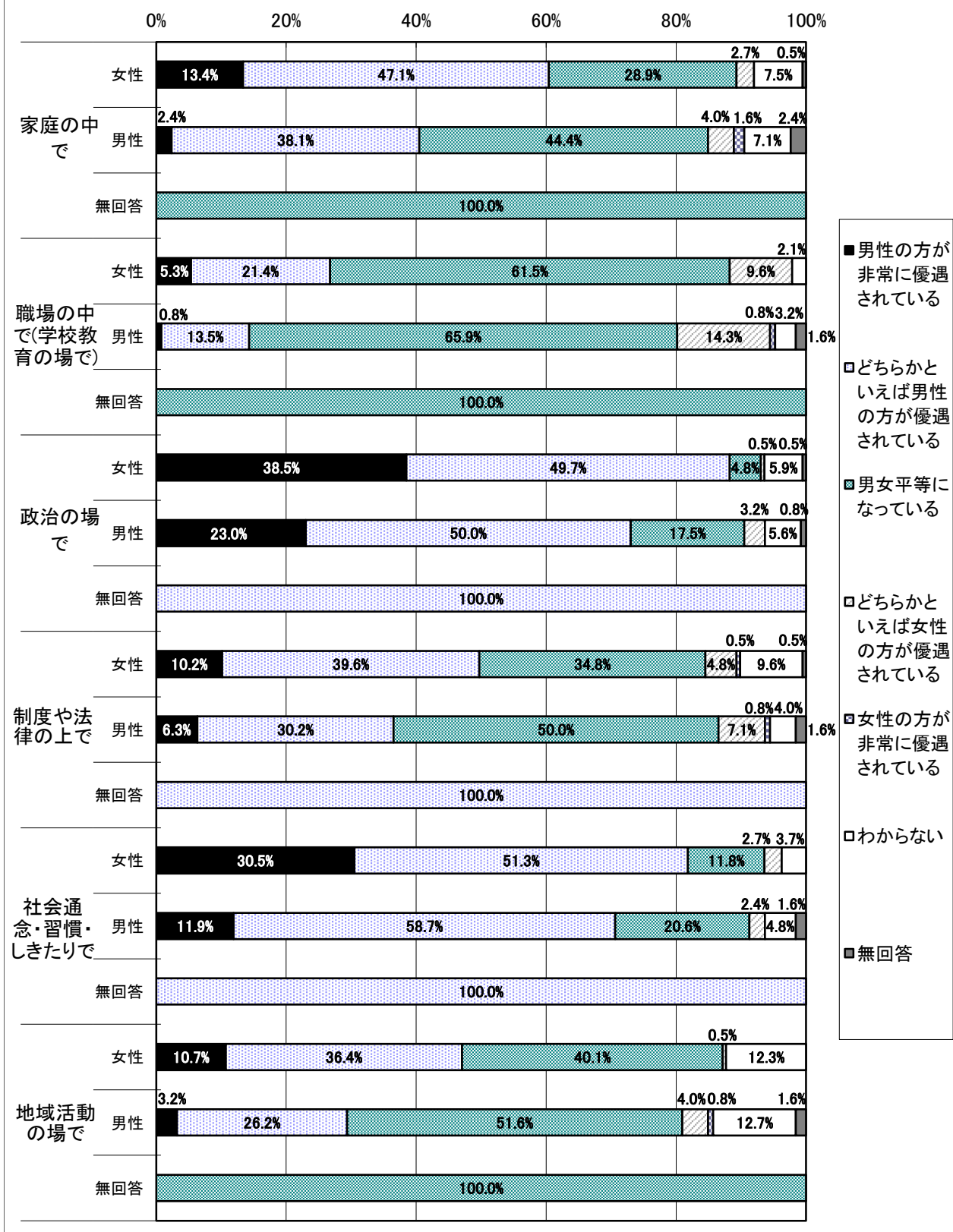
	女性n=187 男性n=126 無回答n=1 全体n=314	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	男女平等 になって いる	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからな い	無回答
a 家庭の 中で	女性	13.4%	47.1%	28.9%	2.7%	0.0%	7.5%	0.5%
	男性	2.4%	38.1%	44.4%	4.0%	1.6%	7.1%	2.4%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	8.9%	43.3%	35.4%	3.2%	0.6%	7.3%	1.3%
b 職場の 中で(学校教育 の場で)	女性	5.3%	21.4%	61.5%	9.6%	0.0%	2.1%	0.0%
	男性	0.8%	13.5%	65.9%	14.3%	0.8%	3.2%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	3.5%	18.2%	63.4%	11.5%	0.3%	2.5%	0.6%
c 政治の 場で	女性	38.5%	49.7%	4.8%	0.5%	0.0%	5.9%	0.5%
	男性	23.0%	50.0%	17.5%	3.2%	0.0%	5.6%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	32.2%	50.0%	9.9%	1.6%	0.0%	5.7%	0.6%
d 制度や 法律の上 で	女性	10.2%	39.6%	34.8%	4.8%	0.5%	9.6%	0.5%
	男性	6.3%	30.2%	50.0%	7.1%	0.8%	4.0%	1.6%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	8.6%	36.0%	40.8%	5.7%	0.6%	7.3%	1.0%
e 社会通 念・習慣・ しきたりで	女性	30.5%	51.3%	11.8%	2.7%	0.0%	3.7%	0.0%
	男性	11.9%	58.7%	20.6%	2.4%	0.0%	4.8%	1.6%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	22.9%	54.5%	15.3%	2.5%	0.0%	4.1%	0.6%
f 地域活 動の場で	女性	10.7%	36.4%	40.1%	0.5%	0.0%	12.3%	0.0%
	男性	3.2%	26.2%	51.6%	4.0%	0.8%	12.7%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	7.6%	32.2%	44.9%	1.9%	0.3%	12.4%	0.6%

各分野の男女平等の実現度については、「男性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』は、「政治の場で」が 82.2%と最も高く、「社会通念・習慣・しきたりで」（77.4%）、「家庭の中で」（52.2%）と続いています。

一方、「平等になっている」は、「職場の中で（学校教育の場で）」が 63.4%と最も高く、「地域活動の場で」（44.9%）、「制度や法律の上で」（40.8%）と続いています。また、「女性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている』は、「職場の中で（学校教育の場で）」が 11.8%と最も高く、「制度や法律の上で」（6.3%）、「家庭の中で」（3.8%）と続いています。

教員意識調査との比較においては、「職場の中で」で「平等になっている」が教員意識調査では 63.4%、職員意識調査では 38.5%と 24.9ポイント教員の方が高いが、その他は大きな差異はみられません。

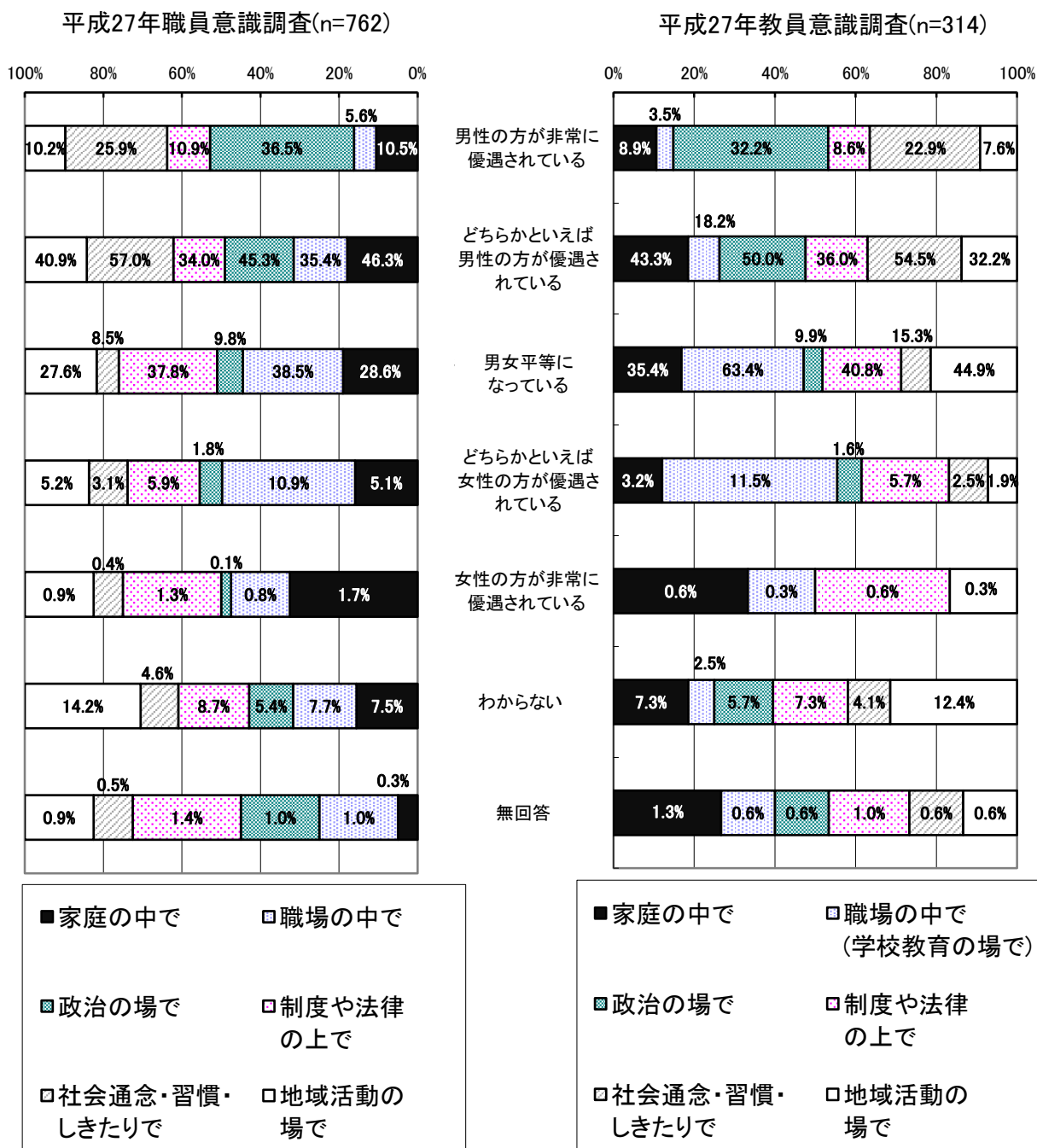
<図表 1－4> 男女平等の実現度



<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

注：職員意識調査とは、一部選択肢が異なる。

<図表 1－5>



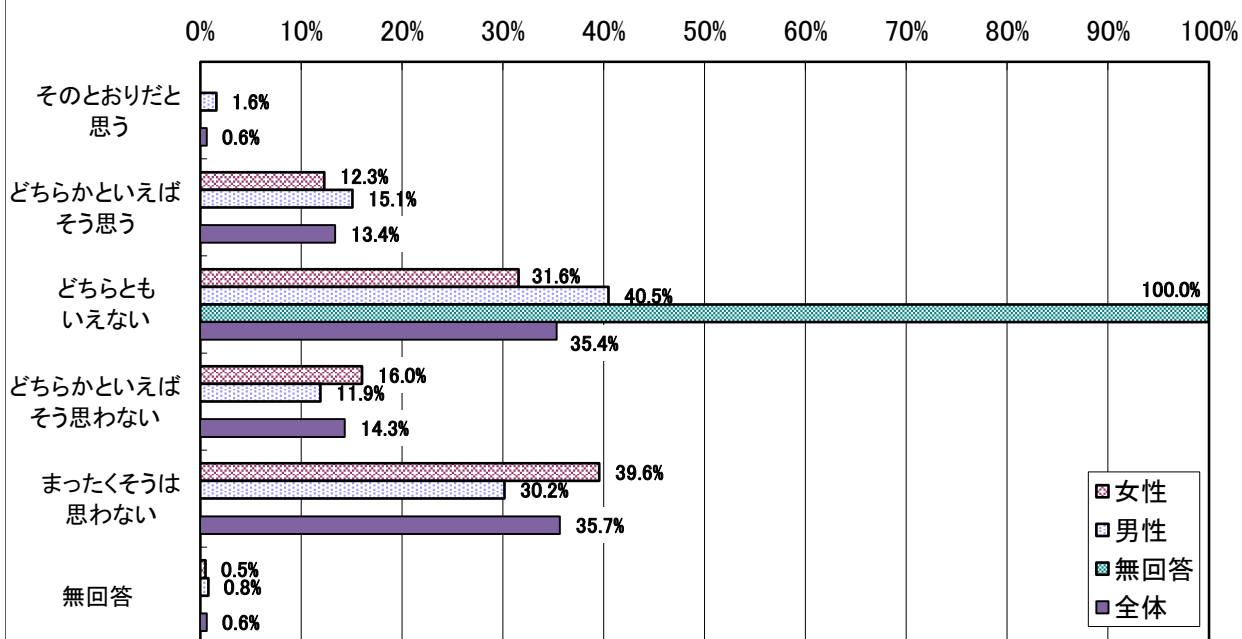
《 2 仕事や家庭をめぐる考え方について 》

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。
(○は1つ)

	女性	男性	無回答	全体
そのとおりだと思う	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	2 0.6%
どちらかといえばそう思う	23 12.3%	19 15.1%	0 0.0%	42 13.4%
どちらともいえない	59 31.6%	51 40.5%	1 100.0%	111 35.4%
どちらかといえばそう思わない	30 16.0%	15 11.9%	0 0.0%	45 14.3%
まったくそうは思わない	74 39.6%	38 30.2%	0 0.0%	112 35.7%
無回答	1 0.5%	1 0.8%	0 0.0%	2 0.6%
総 計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

女性 n = 187
男性 n = 126
無回答 n = 1
全体 n = 314

<図表2-1> 男は仕事・女は家庭という意識



男は仕事、女は家庭という考え方については、「まったくそうは思わない」（35.7%）が最も高く、「どちらともいえない」（35.4%）「どちらかといえばそう思わない」が14.3%と続いています。

また、「まったくそうは思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が50.0%、「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が14.0%となっています。

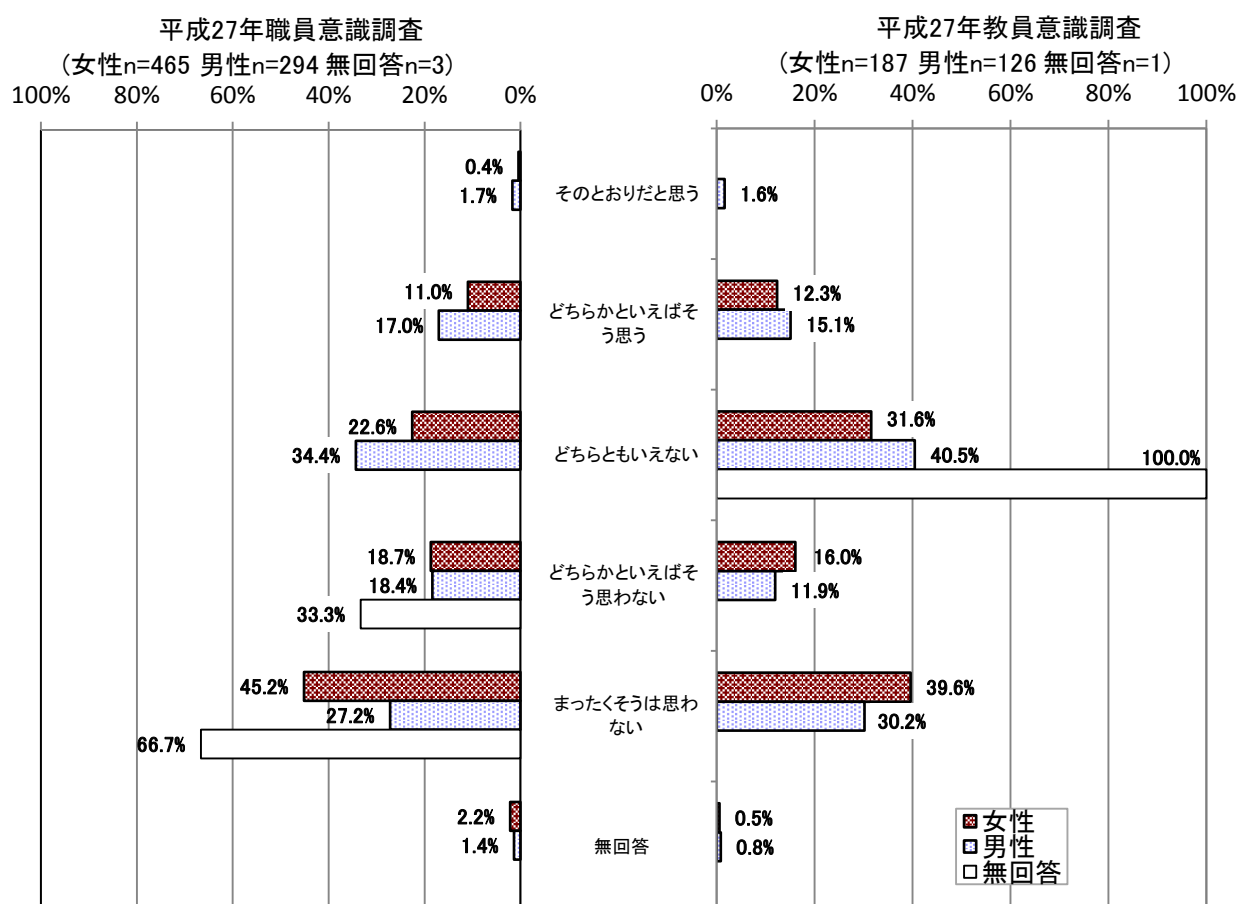
女性で『そう思わない』が55.6%と、男性（42.1%）より13.5ポイント高くなっています。

一方、男性で『そう思う』が16.7%と、女性（12.3%）より4.4ポイント高くなっています。

職員意識調査と比較すると、「まったくそうは思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が教員意識調査（50.0%）であり、職員意識調査（56.9%）の方が6.9ポイント高くなっています。

<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

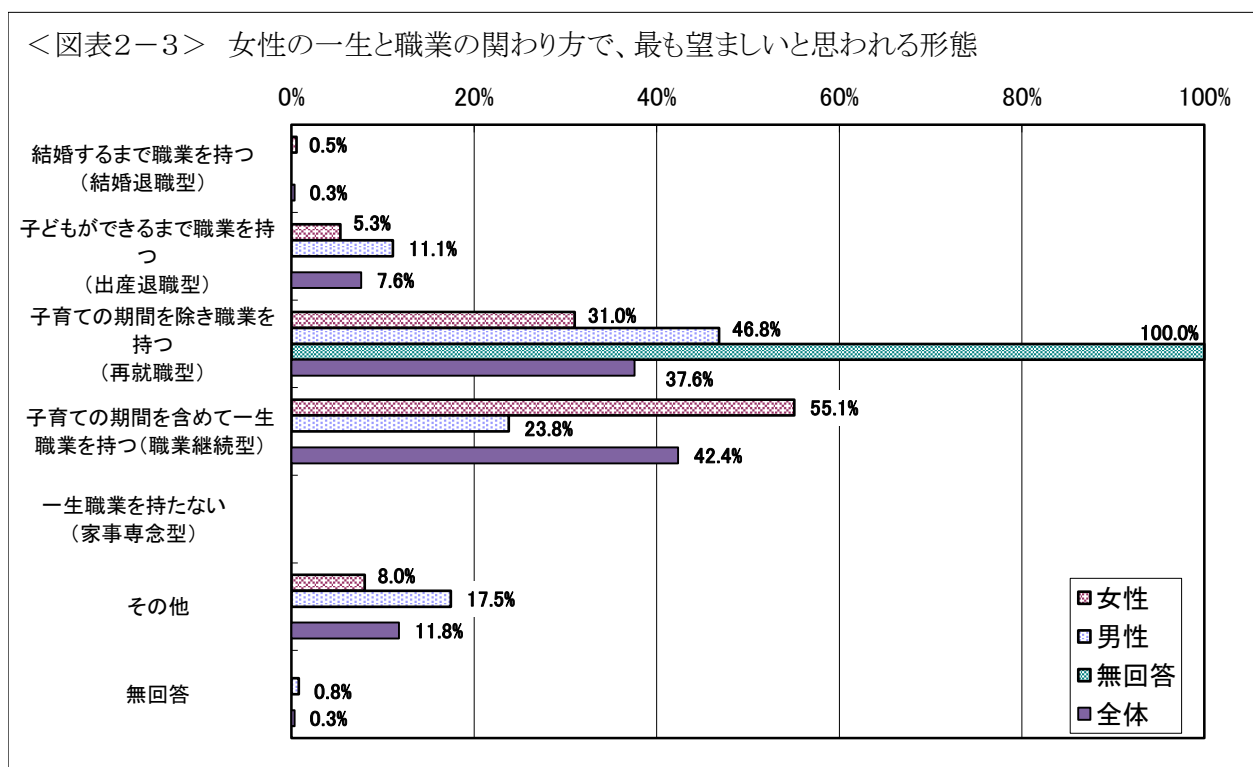
<図表2-2>



問4 女性の一生と職業の関わり方で、あなたが最も望ましいと思われる形態はどれに当たりますか。（○は1つ）

	女性	男性	無回答	全体
結婚するまで職業を持つ（結婚退職型）	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
子どもができるまで職業を持つ（出産退職型）	10 5.3%	14 11.1%	0 0.0%	24 7.6%
子育ての期間を除き職業を持つ（再就職型）	58 31.0%	59 46.8%	1 100.0%	118 37.6%
子育ての期間を含めて一生職業を持つ（職業継続型）	103 55.1%	30 23.8%	0 0.0%	133 42.4%
一生職業を持たない（家事専念型）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	15 8.0%	22 17.5%	0 0.0%	37 11.8%
無回答	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.3%
総計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

女性 n = 187
男性 n = 126
無回答 n = 1
全体 n = 314



女性の一生と職業の関わり方で、最も望ましいと思われる形態は「子育ての期間を含めて一生職業を持つ（職業継続型）」が42.4%と最も高く、「子育ての期間を除き職業を持つ（再就職型）」が37.6%となっています。

女性では「子育ての期間を含めて一生職業を持つ」が55.1%と、男性（23.8%）より31.3ポイント高くなっています。一方、男性では「子育ての期間を除き職業を持つ」が46.8%と、女性（31.0%）よりも15.8ポイント高くなっています。

問5 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、実際の状況はどのようなですか。次の中から選んでください。

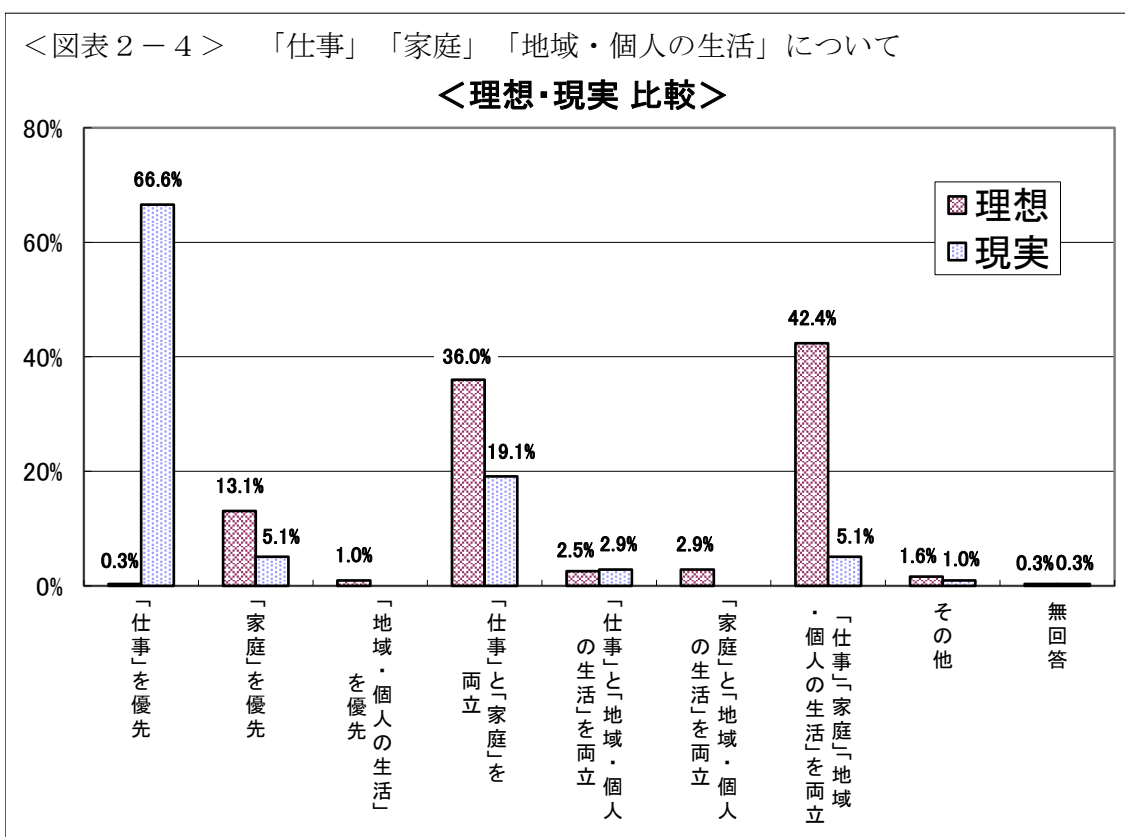
	理 想				現 実			
	女性	男性	無回答	全体	女性	男性	無回答	全体
「仕事」を優先	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.3%	121 64.7%	87 69.0%	1 100.0%	209 66.6%
「家庭」を優先	27 14.4%	14 11.1%	0 0.0%	41 13.1%	10 5.3%	6 4.8%	0 0.0%	16 5.1%
「地域・個人の生活」を優先	1 0.5%	2 1.6%	0 0.0%	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
「仕事」と「家庭」を両立	69 36.9%	43 34.1%	1 100.0%	113 36.0%	39 20.9%	21 16.7%	0 0.0%	60 19.1%
「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	4 2.1%	4 3.2%	0 0.0%	8 2.5%	7 3.7%	2 1.6%	0 0.0%	9 2.9%
「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	3 1.6%	6 4.8%	0 0.0%	9 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	80 42.8%	53 42.1%	0 0.0%	133 42.4%	8 4.3%	8 6.3%	0 0.0%	16 5.1%
その他	3 1.6%	2 1.6%	0 0.0%	5 1.6%	2 1.1%	1 0.8%	0 0.0%	3 1.0%
無回答	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.3%
総 計	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%	187 100.0%	126 100.0%	1 100.0%	314 100.0%

女性 n = 187

男性 n = 126

無回答 n = 1

全体 n = 314



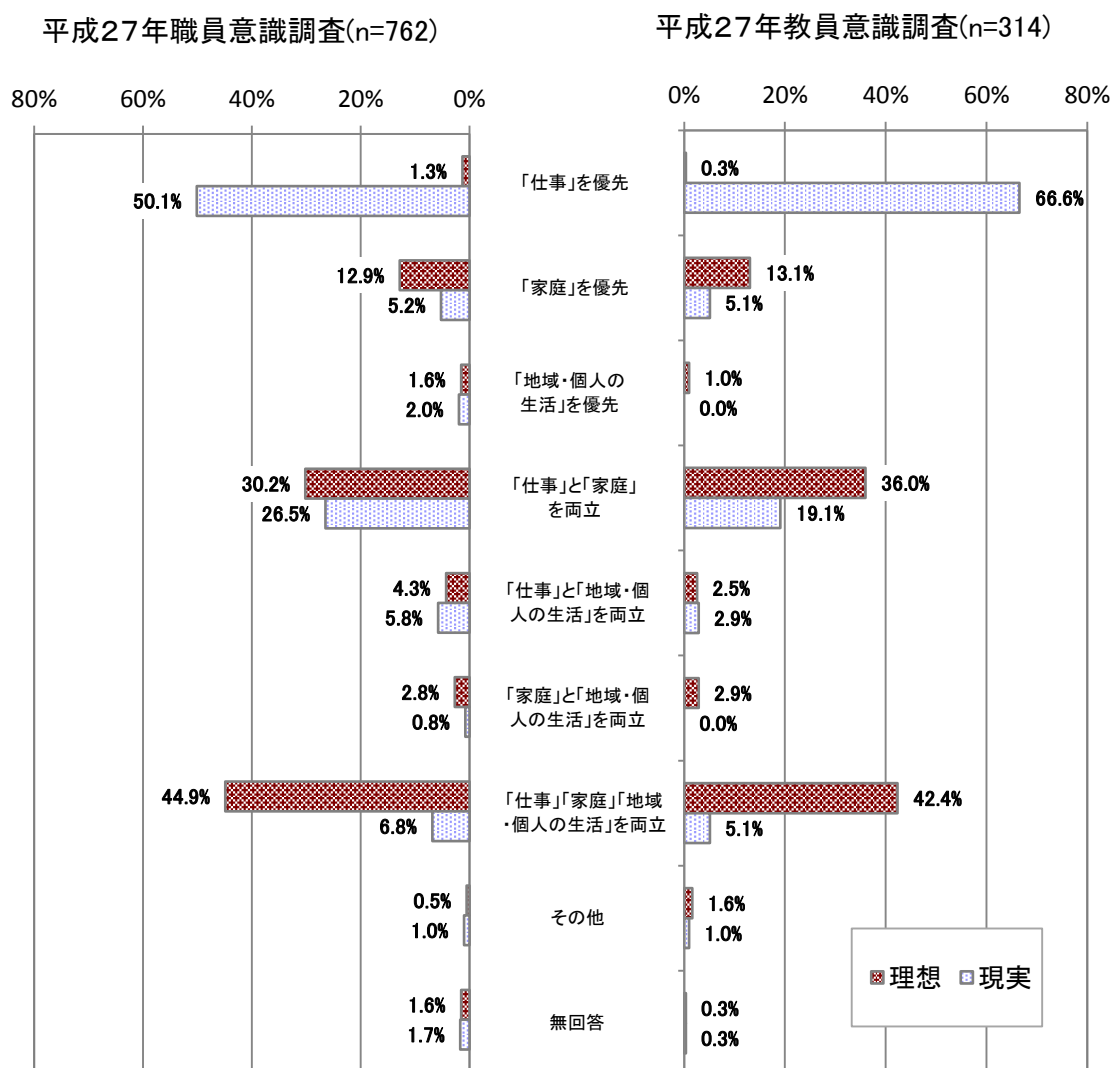
◇理想では、『「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立』が全体で見ると42.4%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が36.0%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

◇現実では、『「仕事」を優先』が全体で見ると66.6%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が19.1%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

職員意識調査、平成21年調査と比較してみても同様の傾向が見られます。

<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表2-5>

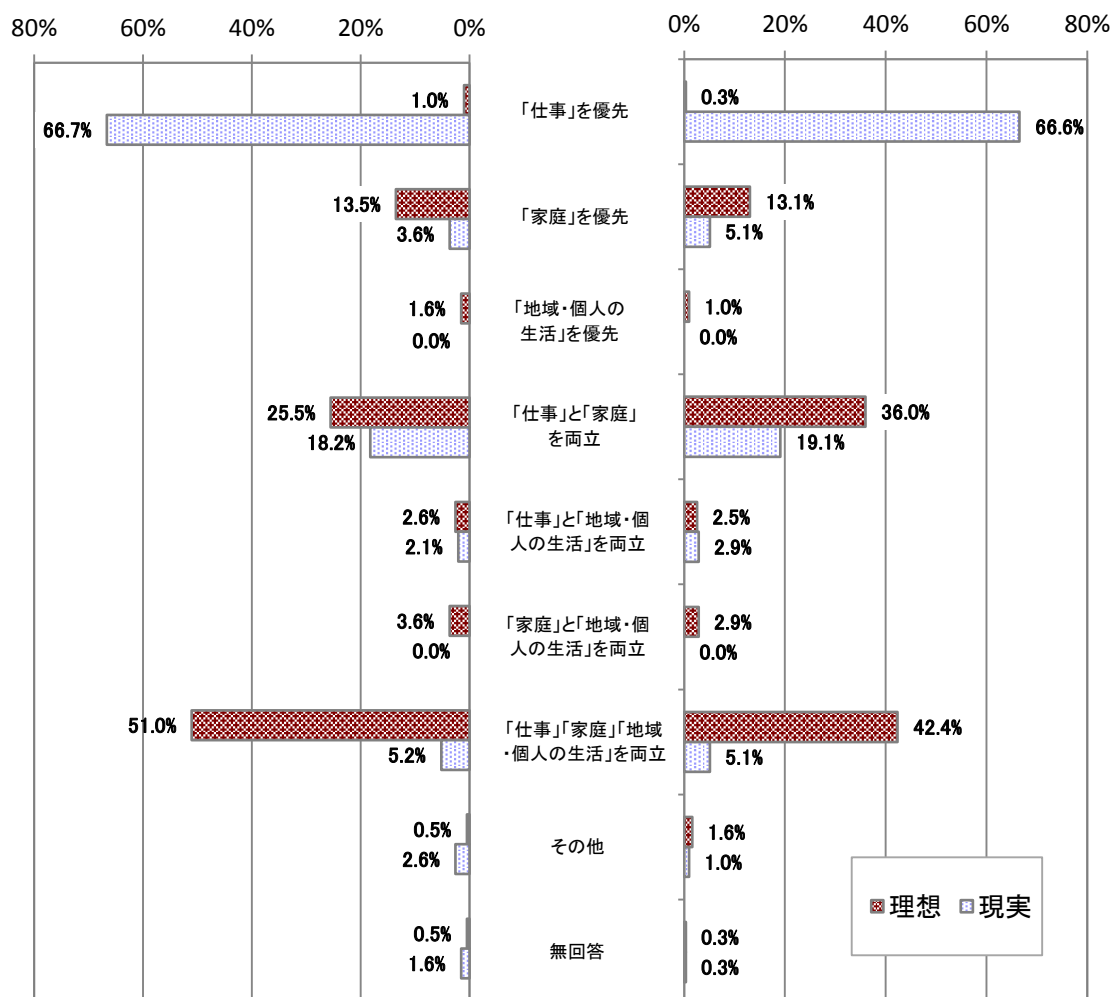


<参考>平成21年・平成27年教員意識調査との比較

<図表2-6>

平成21年教員意識調査(n=192)

平成27年教員意識調査(n=314)



問6 社会的に配偶者（事実婚や離婚後も含む）への暴力（DV）が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。次のa～lごとに、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=187 男性n=126 無回答n=1 全体n=314	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでもない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	女性	38.0%	56.1%	5.3%	0.5%
	男性	42.9%	46.8%	8.7%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	40.1%	52.2%	6.7%	1.0%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	女性	69.0%	28.3%	2.7%	0.0%
	男性	51.6%	36.5%	10.3%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	62.1%	31.5%	5.7%	0.6%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	女性	68.4%	27.8%	3.7%	0.0%
	男性	58.7%	33.3%	6.3%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	64.6%	29.9%	4.8%	0.6%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	女性	93.6%	5.9%	0.5%	0.0%
	男性	87.3%	8.7%	2.4%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	91.1%	7.0%	1.3%	0.6%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしょうなし」と言う	女性	88.8%	9.1%	1.6%	0.5%
	男性	81.7%	15.1%	1.6%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	86.0%	11.5%	1.6%	1.0%
f ながるふりをして、おどす	女性	94.1%	5.3%	0.5%	0.0%
	男性	94.4%	4.0%	0.0%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	94.3%	4.8%	0.3%	0.6%
g 殴る、蹴るの暴力を振るう	女性	99.5%	0.5%	0.0%	0.0%
	男性	98.4%	0.0%	0.0%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	99.0%	0.3%	0.0%	0.6%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	女性	90.9%	8.6%	0.5%	0.0%
	男性	88.9%	7.9%	0.8%	2.4%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	90.1%	8.3%	0.6%	1.0%
i 避妊に協力しない	女性	87.7%	11.8%	0.5%	0.0%
	男性	83.3%	13.5%	0.8%	2.4%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	86.0%	12.4%	0.6%	1.0%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	女性	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%
	男性	97.6%	0.8%	0.0%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	97.8%	1.6%	0.0%	0.6%
k 大声でどなる	女性	84.5%	15.5%	0.0%	0.0%
	男性	75.4%	23.0%	0.0%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	80.9%	18.5%	0.0%	0.6%
l 生活費を渡さない	女性	73.3%	24.1%	2.7%	0.0%
	男性	76.2%	19.0%	3.2%	1.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	74.5%	22.0%	2.9%	0.6%

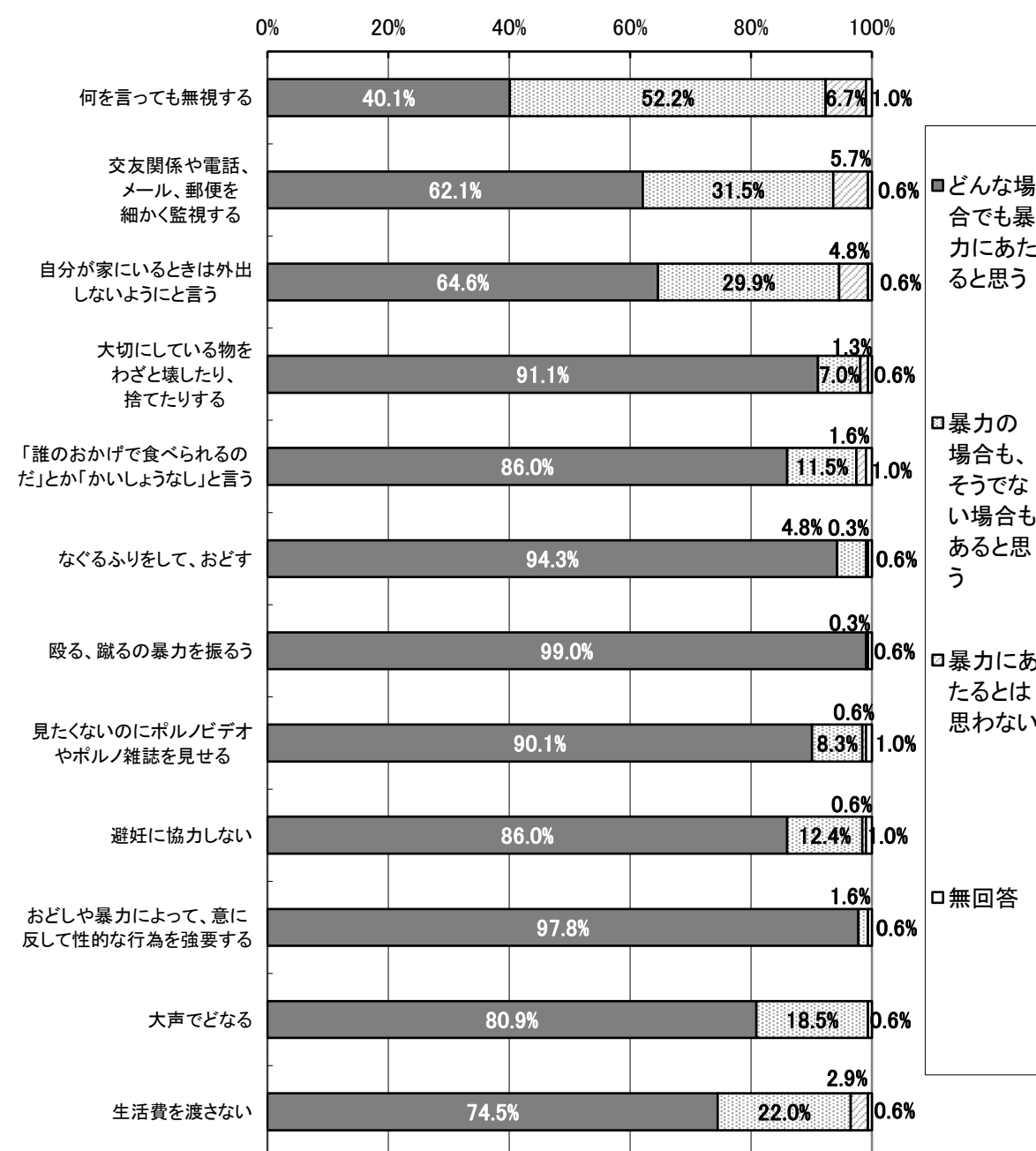
どんな行為を暴力と感じているかは、「殴る、蹴るの暴力を振るう」（女性 99.5%、男性 98.4%）が最も高く、「おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する」（女性 97.9%、男性 97.6%）が、次いで高くなっています。

『暴力の場合も、そうでない場合もあると思う』は、「何を言っても無視する」（女性 56.1%、男性 46.8%）が最も高く、「交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する」（女性 28.3%、男性 36.5%）が、次いで高くなっています。

職員意識調査と比較してみても同様な傾向が見られます。

平成 21 年調査との比較においては、全体的に同様な傾向が見られますが、「生活費を渡さない」以外は、『どんな場合でも暴力にあたると思う』の割合が増加しています。

<図表 2-7> それぞれの行為がDVにあたると思うか？



<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表 2－8>



<参考>平成21年・平成27年教員意識調査との比較

<図表2-9>



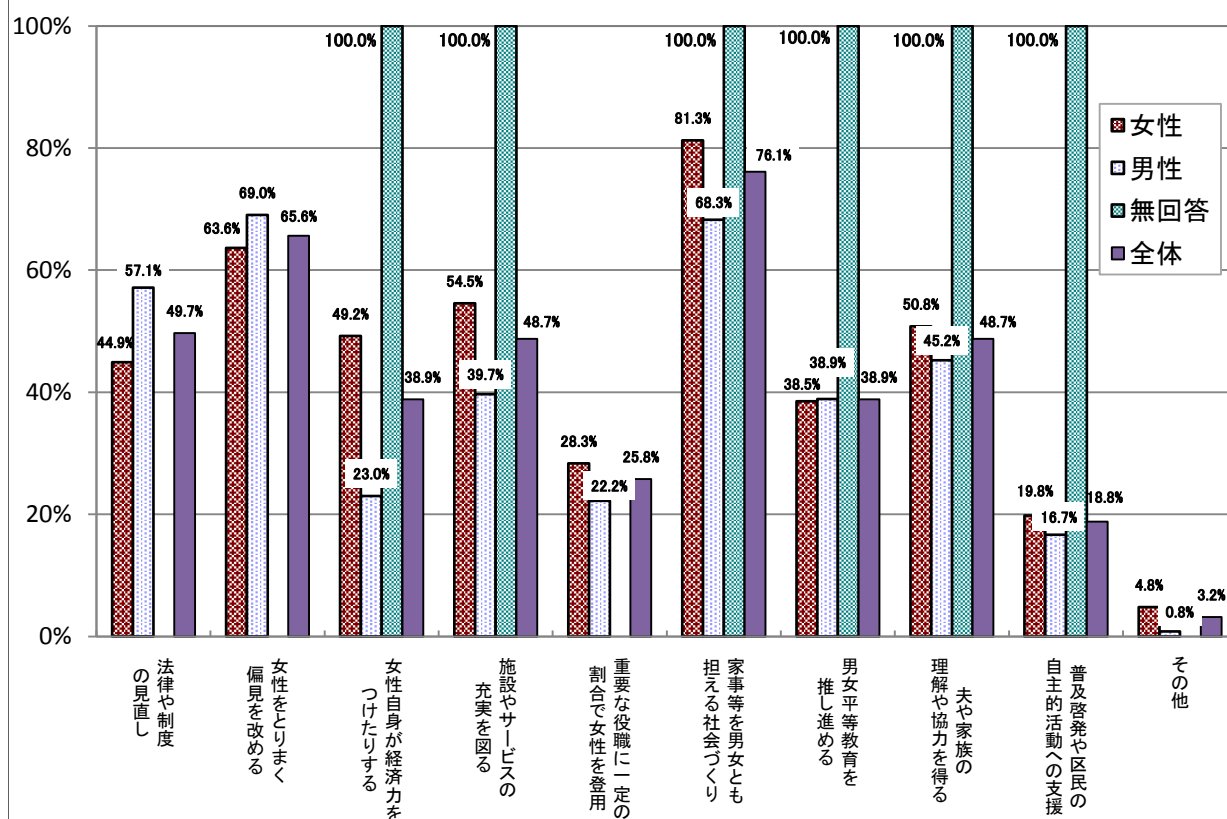
《 3 男女共同参画社会に関する施策について 》

問7 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。（○は該当するもののいくつでも）

	女性	男性	無回答	全体
法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	84 44.9%	72 57.1%	0 0.0%	156 49.7%
女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	119 63.6%	87 69.0%	0 0.0%	206 65.6%
女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること	92 49.2%	29 23.0%	1 100.0%	122 38.9%
女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること	102 54.5%	50 39.7%	1 100.0%	153 48.7%
行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	53 28.3%	28 22.2%	0 0.0%	81 25.8%
家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること	152 81.3%	86 68.3%	1 100.0%	239 76.1%
学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること	72 38.5%	49 38.9%	1 100.0%	122 38.9%
夫や家族の理解や協力を得ること	95 50.8%	57 45.2%	1 100.0%	153 48.7%
男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと	37 19.8%	21 16.7%	1 100.0%	59 18.8%
その他	9 4.8%	1 0.8%	0 0.0%	10 3.2%

女性 n =
187
男性 n =
126
無回答 n =
1
全体 n =
314

<図表3-1> 男女共同参画実現のために重要と思うこと



男女共同参画社会実現のために重要と思うことをいくつかでも答えてもらったところ、最も多かったのは「家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること」が76.1%（女性81.3%、男性68.3%）で、次に「女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」が65.6%（女性63.6%、男性69.0%）、「法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」が49.7%（女性44.9%、男性57.1%）と続いています。

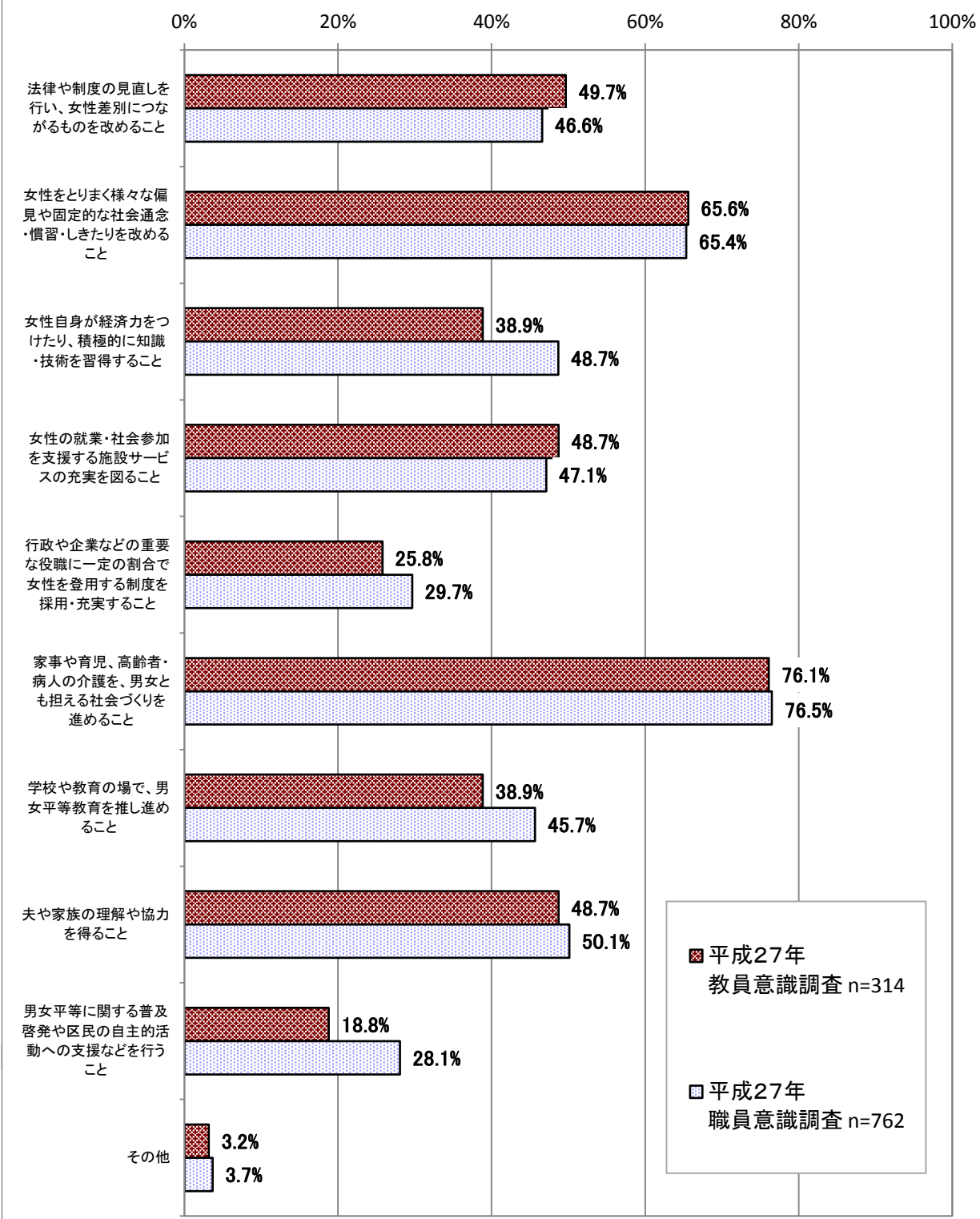
男女で違いが大きかったのは「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」（女性49.2%、男性23.0%、26.2ポイント差）「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（女性54.5%、男性39.7%、14.8ポイント差）「家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること」（女性81.3%、男性68.3%、13.0ポイント差）となっています。

職員意識調査と比較すると、「法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」（3.1ポイント）・「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（1.6ポイント）等は教員意識調査の方が上回っています。一方、「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」は、職員意識調査（48.7%）が教員意識調査（38.9%）を9.8ポイント上回っています。

平成21年調査と比較すると、変化が大きかったものとしては、「女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」は、平成21年調査（58.3%）から平成27年調査（65.6%）へ7.3ポイント増加し、「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」は、平成21年調査（49.0%）から平成27年調査（38.9%）へ10.1ポイント減少しています。

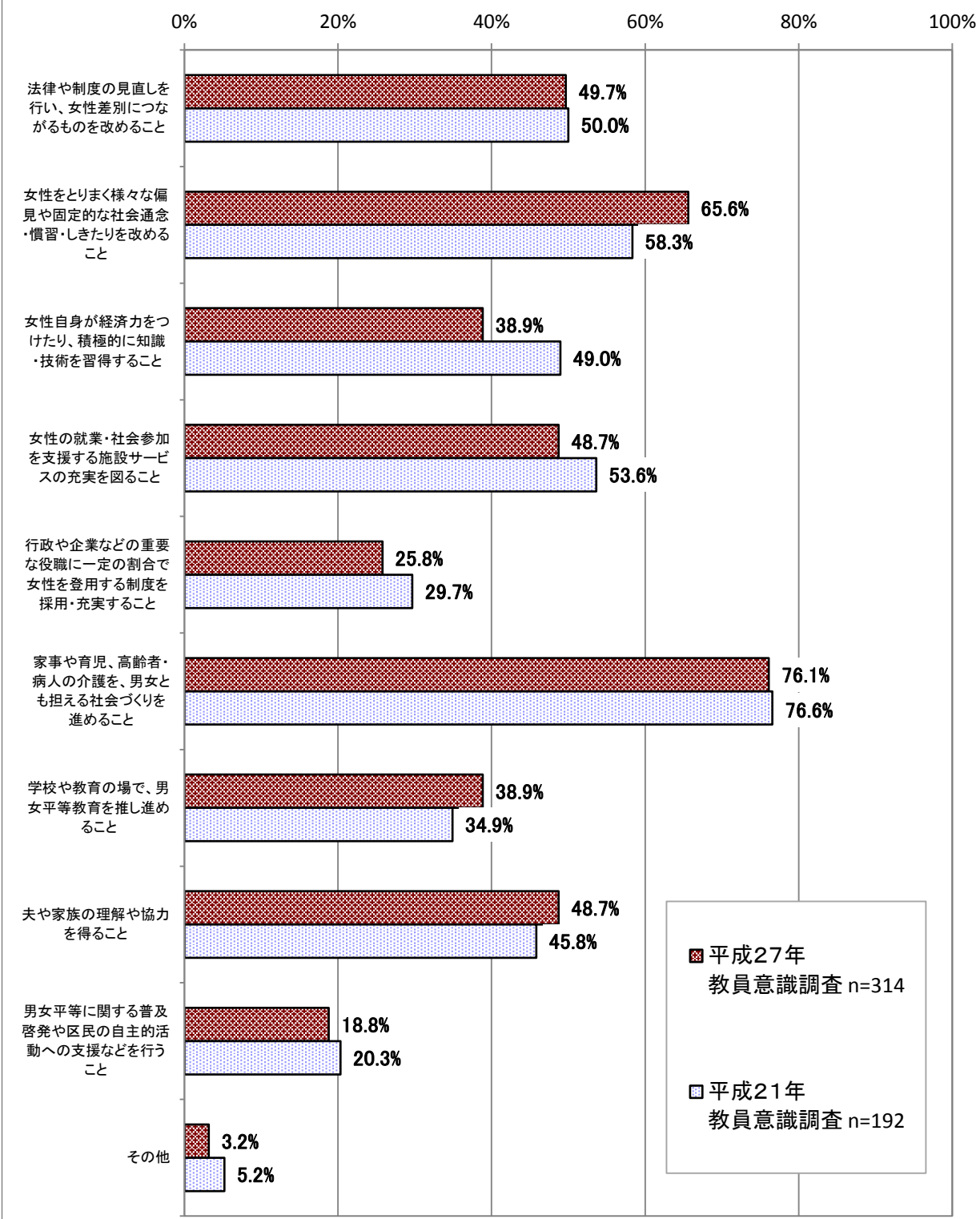
<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表3-2> 男女共同参画実現のために重要と思うこと



<参考>平成21年・平成27年教員意識調査との比較

<図表3-3> 男女共同参画実現のために重要と思うこと



問8 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次のa～kごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

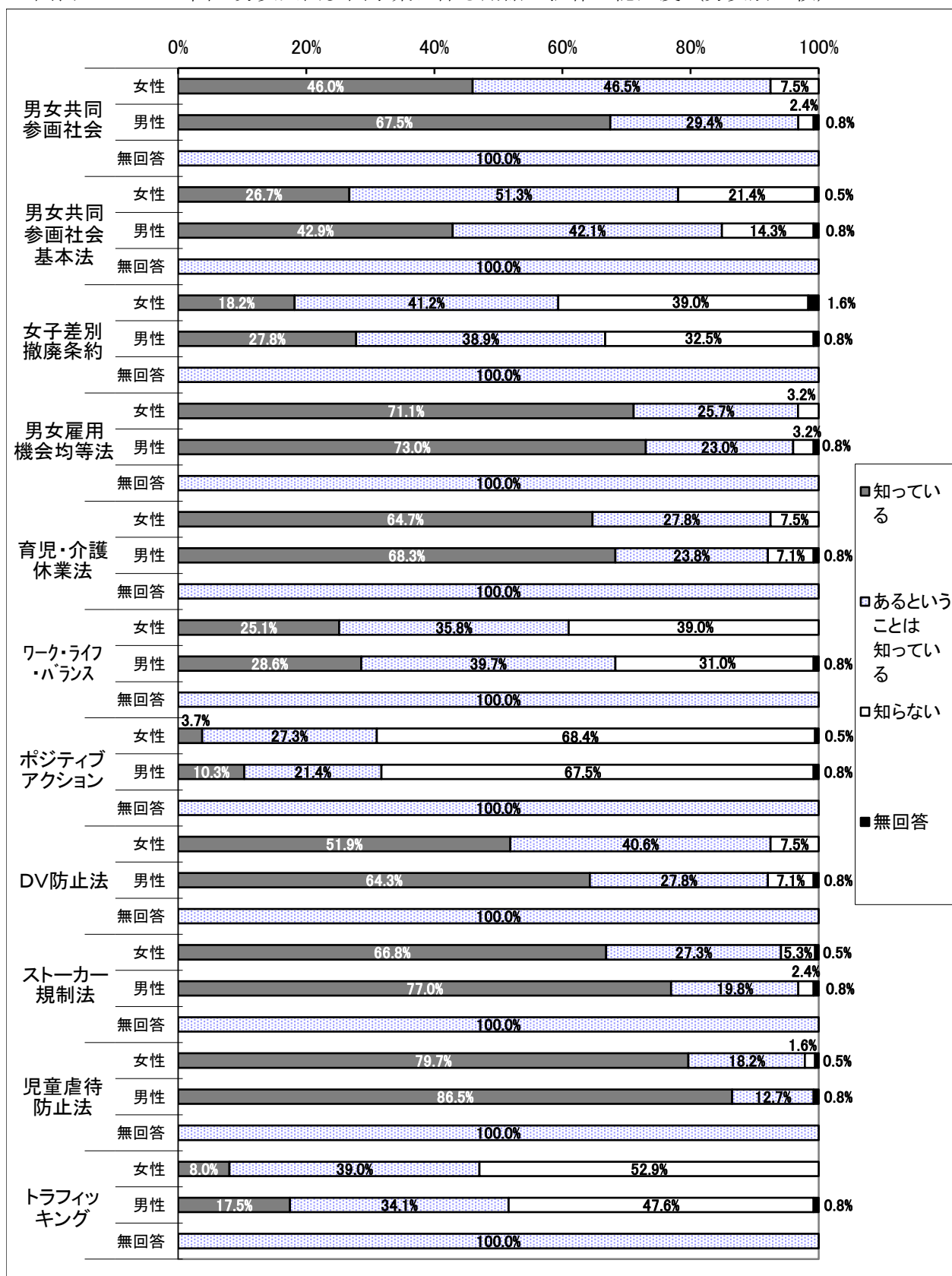
	女性n=187 男性n=126 無回答n=1 全体n=314	知っている	あるということ は知っている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	女性	46.0%	46.5%	7.5%	0.0%
	男性	67.5%	29.4%	2.4%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	54.5%	39.8%	5.4%	0.3%
b 男女共同参画社会基本法	女性	26.7%	51.3%	21.4%	0.5%
	男性	42.9%	42.1%	14.3%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	33.1%	47.8%	18.5%	0.6%
c 女子差別撤廃条約	女性	18.2%	41.2%	39.0%	1.6%
	男性	27.8%	38.9%	32.5%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	22.0%	40.4%	36.3%	1.3%
d 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	女性	71.1%	25.7%	3.2%	0.0%
	男性	73.0%	23.0%	3.2%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	71.7%	24.8%	3.2%	0.3%
e 育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	女性	64.7%	27.8%	7.5%	0.0%
	男性	68.3%	23.8%	7.1%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	65.9%	26.4%	7.3%	0.3%
f ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	女性	25.1%	35.8%	39.0%	0.0%
	男性	28.6%	39.7%	31.0%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	26.4%	37.6%	35.7%	0.3%
g ポジティブアクション（積極的改善措置）	女性	3.7%	27.3%	68.4%	0.5%
	男性	10.3%	21.4%	67.5%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	6.4%	25.2%	67.8%	0.6%
h DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法）	女性	51.9%	40.6%	7.5%	0.0%
	男性	64.3%	27.8%	7.1%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	56.7%	35.7%	7.3%	0.3%
i ストーカー規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）	女性	66.8%	27.3%	5.3%	0.5%
	男性	77.0%	19.8%	2.4%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	70.7%	24.5%	4.1%	0.6%
j 児童虐待防止法（児童虐待の防止等に関する法律）	女性	79.7%	18.2%	1.6%	0.5%
	男性	86.5%	12.7%	0.0%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	82.2%	16.2%	1.0%	0.6%
k トラフィッキング（人身取引）	女性	8.0%	39.0%	52.9%	0.0%
	男性	17.5%	34.1%	47.6%	0.8%
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	11.8%	37.3%	50.6%	0.3%

国の男女共同参画施策に係る用語・法律の認知度については、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「児童虐待防止法」（９８．４％）・「男女雇用機会均等法」（９６．５％）の順で高く、「ストーカー規制法」（９５．２％）と続いています。

逆に、認知度が低いのは、「ポジティブアクション」が６７．８％と最も低く、「トラフィッキング」（５０．６％）、「女子差別撤廃条約」（３６．３％）、となっています。

また、職員意識調査との比較においては、『知っている』について大きな差異がみられるものは、「ワーク・ライフ・バランス」と「ポジティブアクション」の２つであり、それぞれ２１．３ポイント、１５．４ポイント教員意識調査の方が、認知度が低くなっています。

<図表3-4> 国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度（男女別比較）

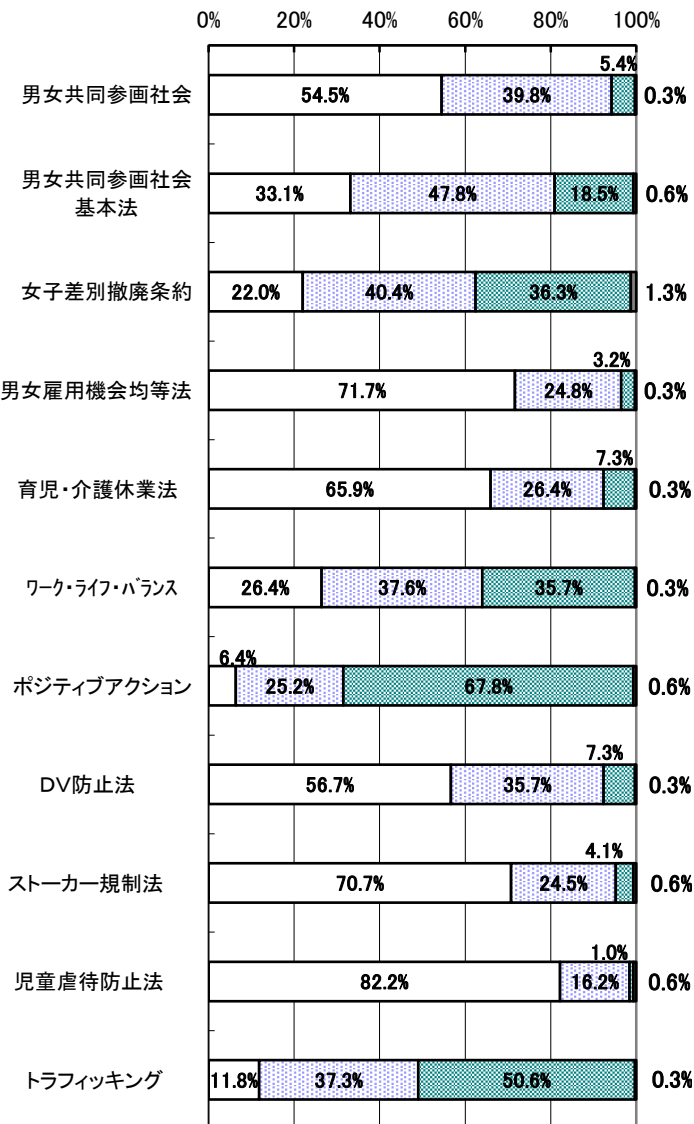
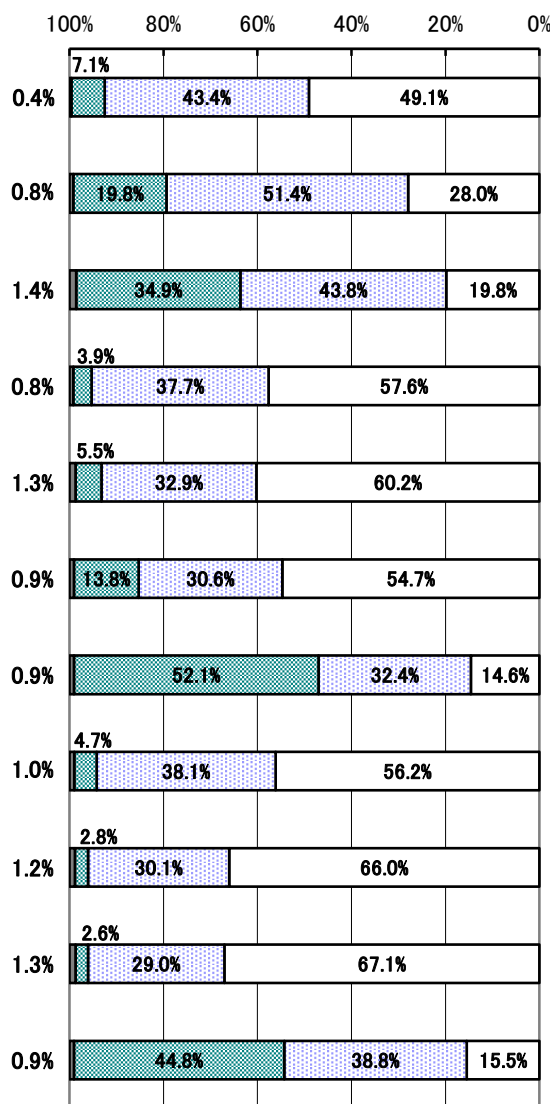


<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表3－5> 国の男女共同参画施策に係る用語・法律の認知度

平成27年職員意識調査(n=762)

平成27年教員意識調査(n=314)



□知っている

□あるということは知っている

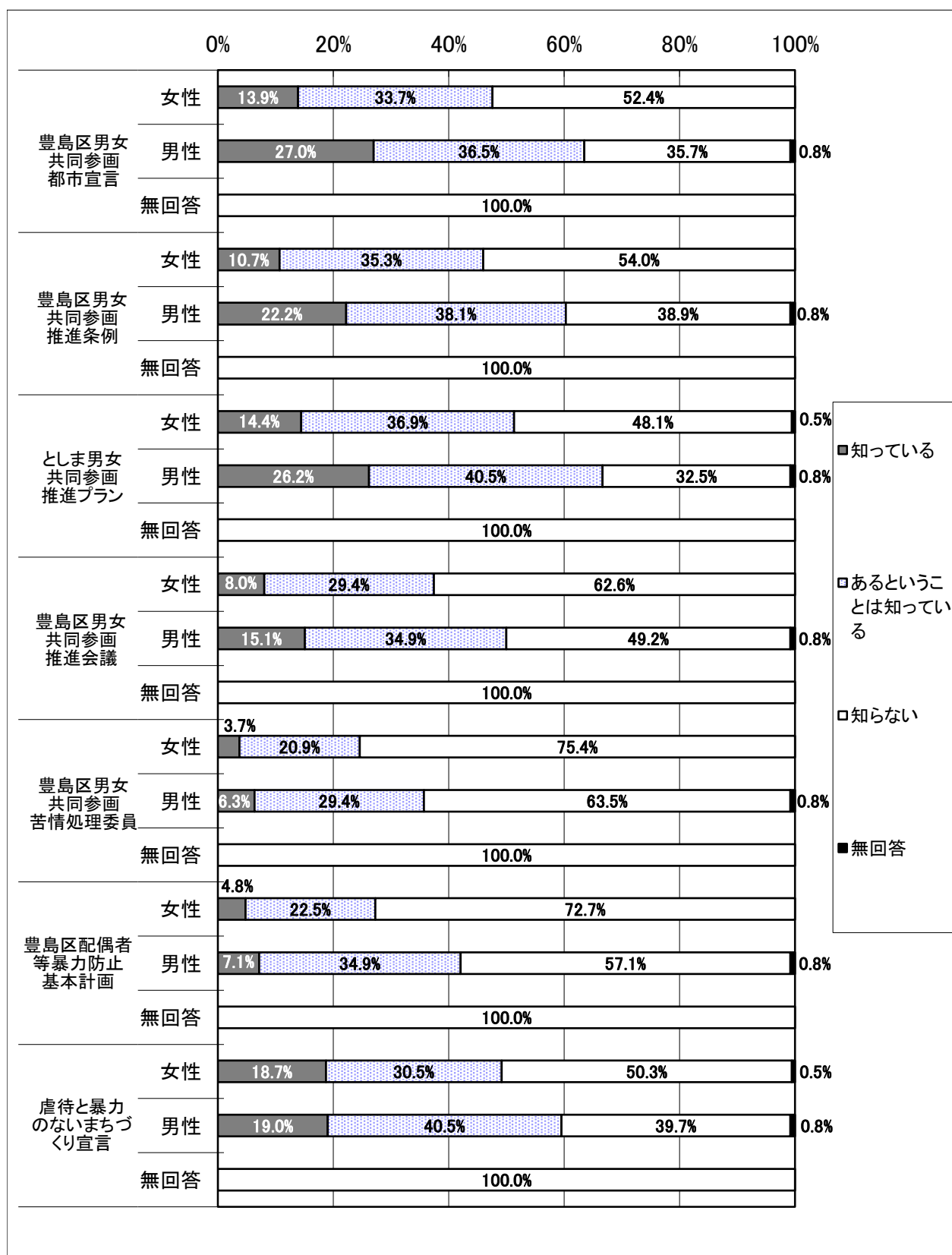
■知らない

■無回答

問9 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次のa～gごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=187 男性n=126 無回答n=1 全体n=314	知っている	あるとい うことは 知っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	女性	13.9%	33.7%	52.4%	0.0%
	男性	27.0%	36.5%	35.7%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	19.1%	34.7%	45.9%	0.3%
b 豊島区男女共同参画推進条例	女性	10.7%	35.3%	54.0%	0.0%
	男性	22.2%	38.1%	38.9%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	15.3%	36.3%	48.1%	0.3%
c としま男女共同参画推進プラン	女性	14.4%	36.9%	48.1%	0.5%
	男性	26.2%	40.5%	32.5%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	19.1%	38.2%	42.0%	0.6%
d 豊島区男女共同参画推進会議	女性	8.0%	29.4%	62.6%	0.0%
	男性	15.1%	34.9%	49.2%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	10.8%	31.5%	57.3%	0.3%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	女性	3.7%	20.9%	75.4%	0.0%
	男性	6.3%	29.4%	63.5%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	4.8%	24.2%	70.7%	0.3%
f 豊島区配偶者等暴力防止基本計画	女性	4.8%	22.5%	72.7%	0.0%
	男性	7.1%	34.9%	57.1%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	5.7%	27.4%	66.6%	0.3%
g 虐待と暴力のないまちづくり宣言	女性	18.7%	30.5%	50.3%	0.5%
	男性	19.0%	40.5%	39.7%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	全体	18.8%	34.4%	46.2%	0.6%

<図表 3－6> 豊島区の男女共同参画事業に係る事業・施策の認知度

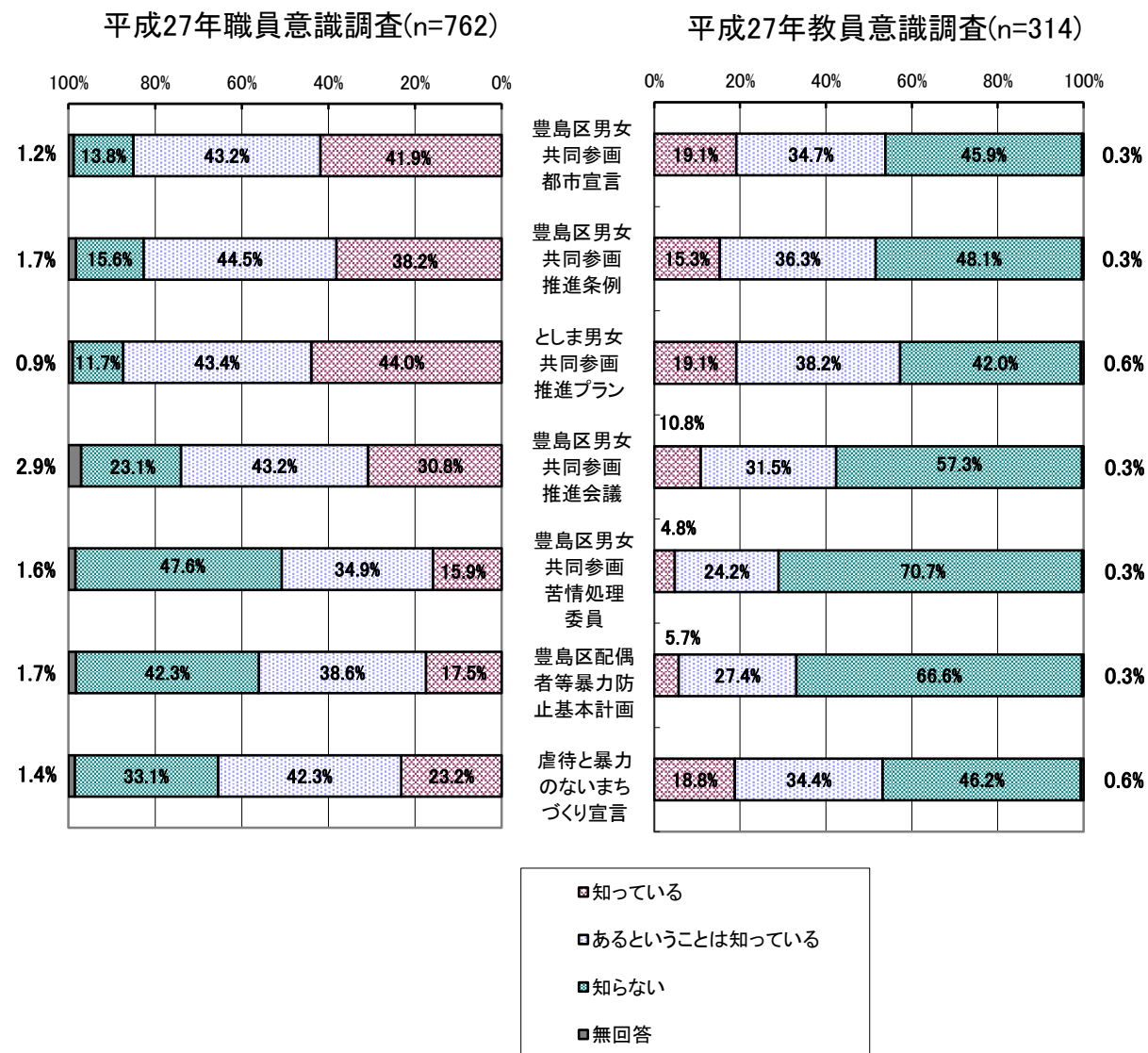


区の男女共同参画事業・施策の認知度については、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「としま男女共同参画推進プラン」が57.3%と最も高く、「豊島区男女共同参画都市宣言」（53.8%）が続いています。一方、「豊島区男女共同参画苦情処理委員」が29.0%と最も低くなっています。

また、職員意識調査との比較においては、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「豊島区男女共同参画推進会議」が31.7ポイント低く、「豊島区男女共同参画都市宣言」も31.3ポイント低くなっています。

<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表3-7> 豊島区の男女共同参画事業に係る事業・施策の認知度(全体比較)



問10 男女共同参画社会を実現するため区は様々な事業に取り組んでいます、次のa～kの事業に区が取り組んでいることを知っていましたか。また、よくやっているといますか。次のa～kの各事業ごとに、1～4の中から当てはまるものを1つ選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=187 男性n=126 無回答n=1 全体n=314	区が取り組んでいることは知っていたし、よくやっていると 思う	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっていると は思えない	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているかどうかは わからない	区が取り組んでいることは 知らなかった	無回答
a 男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実	女性	7.0%	3.2%	43.9%	45.5%	0.5%
	男性	12.7%	8.7%	41.3%	35.7%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	9.2%	5.4%	43.0%	41.4%	1.0%
b 男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援	女性	3.7%	5.3%	43.9%	46.5%	0.5%
	男性	9.5%	11.9%	43.7%	33.3%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	6.1%	8.0%	43.9%	41.1%	1.0%
c 女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供	女性	3.2%	4.3%	43.3%	48.7%	0.5%
	男性	7.1%	10.3%	44.4%	36.5%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	4.8%	6.7%	43.9%	43.6%	1.0%
d 仕事と育児の両立支援施策の推進	女性	5.3%	6.4%	42.2%	45.5%	0.5%
	男性	11.9%	12.7%	42.9%	31.0%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	8.0%	8.9%	42.7%	39.5%	1.0%
e 地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援	女性	2.7%	4.8%	38.5%	52.4%	1.6%
	男性	8.7%	9.5%	45.2%	34.9%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	5.1%	6.7%	41.4%	45.2%	1.6%
f 暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など	女性	7.5%	5.9%	50.3%	35.3%	1.1%
	男性	20.6%	7.9%	43.7%	26.2%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	12.7%	6.7%	47.8%	31.5%	1.3%
g 区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用	女性	5.3%	3.7%	35.8%	54.5%	0.5%
	男性	7.9%	9.5%	42.9%	37.3%	2.4%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	6.4%	6.1%	38.9%	47.5%	1.3%
h 性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援	女性	29.9%	4.8%	42.2%	21.9%	1.1%
	男性	33.3%	10.3%	33.3%	20.6%	2.4%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	31.2%	7.0%	38.9%	21.3%	1.6%
i 人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進	女性	13.4%	8.0%	44.4%	33.7%	0.5%
	男性	19.8%	12.7%	41.3%	24.6%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	15.9%	9.9%	43.3%	29.9%	1.0%
j 性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の理解促進に向けた取り組み	女性	3.7%	2.7%	38.5%	54.5%	0.5%
	男性	8.7%	10.3%	38.9%	40.5%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	5.7%	5.7%	38.9%	48.7%	1.0%
k デートDV（恋人間で起こる、交際相手に対する暴力のこと）予防の啓発	女性	7.0%	3.2%	31.6%	57.8%	0.5%
	男性	19.8%	7.9%	34.1%	36.5%	1.6%
	無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	全体	12.1%	5.1%	32.8%	49.0%	1.0%

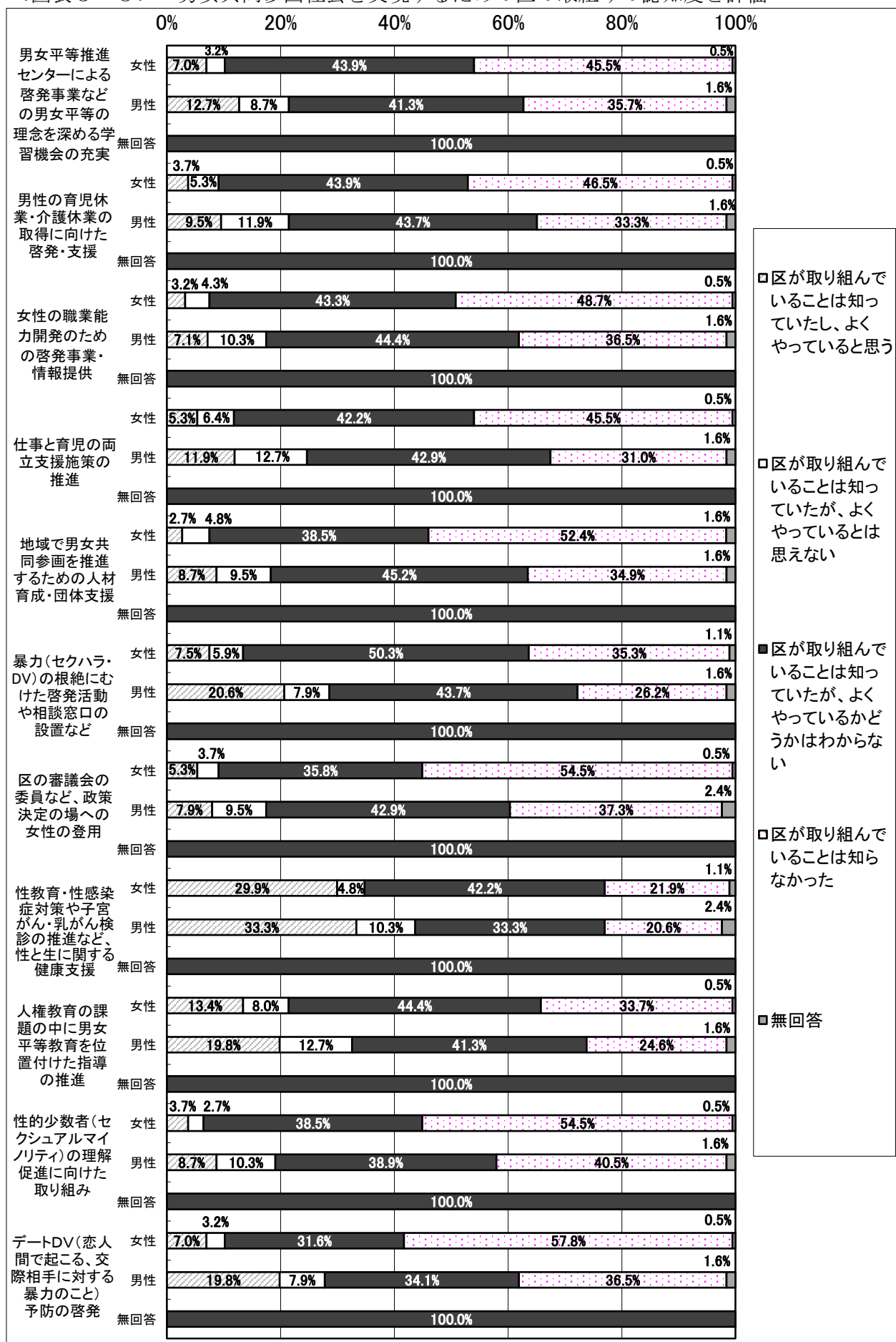
男女共同参画社会を実現するための区の実施の認知度と評価については、『よくやっていると思う』は、「性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援」（31.2%）、「人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進」（15.9%）、「暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など」（12.7%）となっています。

『よくやっているとは思えない』は、「人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進」（9.9%）、「仕事と育児の両立支援施策の推進」（8.9%）、「男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援」（8.0%）となっています。

『よくやっているかどうかはわからない』は、「暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など」（47.8%）、「男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援」「女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供」（43.9%）、「人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進」（43.3%）となっています。

『知らなかった』は、「デートDV（恋人間で起こる、交際相手に対する暴力のこと）予防の啓発」（49.0%）、「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の理解促進に向けた取り組み」（48.7%）、「区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用」（47.5%）となっています。

<図表3-8> 男女共同参画社会を実現するための区の実施の認知度と評価



問 1 1 学校における男女平等教育の推進について、指導上大切だと思うことは何ですか。次の a ～ g ごとに、1 ～ 5 の中から選んでください。（○はそれぞれ 1 つ）

	女性n=187 男性n=126 無回答n=1 全体n=314	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
a 男女の互いの違いを認め、互いを尊重することの大切さを学ぶこと。	女性	89.3%	8.0%	1.6%	0.5%	0.0%	0.5%
	男性	95.2%	4.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	91.4%	6.4%	1.3%	0.3%	0.0%	0.6%
b 男女分け隔てなく、豊かな人間関係を築く力を育てること。	女性	86.1%	10.2%	2.1%	0.5%	0.0%	1.1%
	男性	89.7%	8.7%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	87.3%	9.6%	1.6%	0.6%	0.0%	1.0%
c 社会科や技術・家庭科等で、男女ともに暮らしに必要な知識や技能を学ぶこと。	女性	76.5%	20.3%	2.1%	0.5%	0.0%	0.5%
	男性	69.8%	23.8%	4.8%	1.6%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	73.6%	21.7%	3.2%	1.0%	0.0%	0.6%
d 教育活動の内容（※）により、男女の違いに応じた配慮をしていること。	女性	71.7%	23.5%	2.7%	1.1%	0.0%	1.1%
	男性	73.8%	20.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	72.3%	22.3%	3.8%	0.6%	0.0%	1.0%
e 性別による固定的な役割分担意識をなくし、一人一人の個性、能力・適性を生かした進路が選択できるようにしていること。	女性	79.1%	16.0%	3.7%	0.5%	0.0%	0.5%
	男性	77.0%	19.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	78.0%	17.2%	3.8%	0.3%	0.0%	0.6%
f 女性に対する偏見や暴力をはじめ、あらゆる差別をなくす人権意識を育てること。	女性	84.0%	12.3%	2.7%	0.5%	0.0%	0.5%
	男性	88.1%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.8%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	85.4%	11.1%	2.2%	0.3%	0.0%	1.0%
g 教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること。	女性	68.4%	25.1%	4.8%	1.1%	0.0%	0.5%
	男性	64.3%	23.0%	9.5%	1.6%	1.6%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	66.6%	24.2%	6.7%	1.3%	0.6%	0.6%

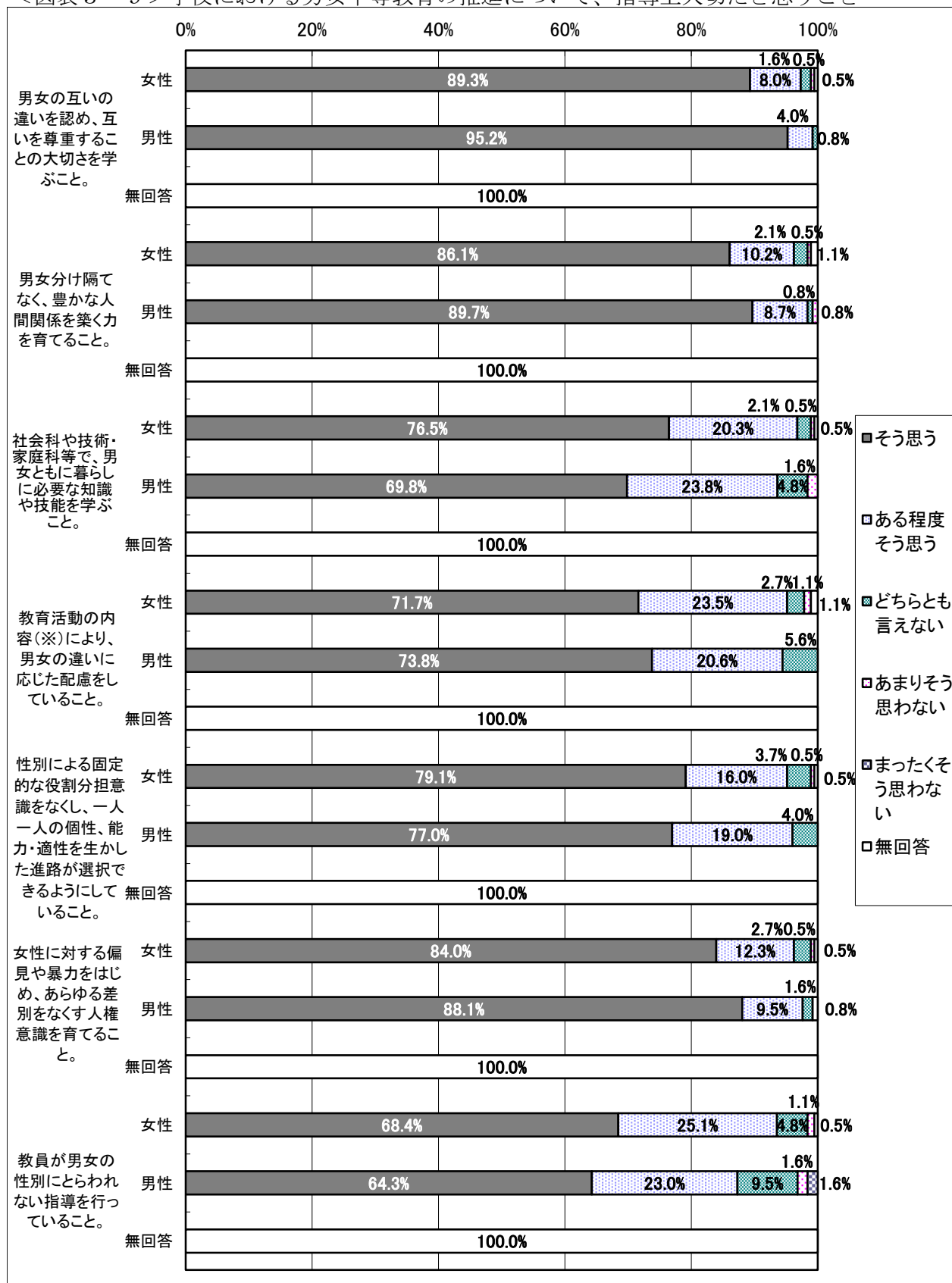
※「内科検診などの場所や時間帯を男女別にする」「運動会の組体操や騎馬戦で身体接触のある場合には十分配慮する」等

指導上大切だと思うことについては、「そう思う」・「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』は、「男女の互いの違いを認め、互いを尊重することの大切さを学ぶこと。」が 97.8%と最も高く、「男女分け隔てなく、豊かな人間関係を築く力を育てること。」（96.9%）、「女性に対する偏見や暴力をはじめ、あらゆる差別をなくす人権意識を育てること。」（96.5%）と続いています。

一方、「どちらとも言えない」は、「教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること。」が 6.7%と最も高くなっています。

また、「あまりそう思わない」・「まったくそう思わない」を合わせた『そう思わない』は、「教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること。」が 1.9%と最も高くなっています。

<図表 3－9> 学校における男女平等教育の推進について、指導上大切だと思うこと



Ⅲ 調査票および単純集計結果

豊島区立学校教員の男女平等意識に関する調査

— ご協力をお願い —

区では、男女一人ひとりの人権が尊重され、その個性と能力を存分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて様々な取り組みを行っています。

この意識調査は、男女平等・男女共同参画社会に関する教員の皆様の意識及び職場の状況を把握し、今後の施策推進の基礎資料とするために実施するものです。

回答は無記名で、結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「としま男女共同参画推進プラン」に基き、教育委員会事務局教育部指導課と総務部男女平等推進センターが実施します。

平成27年7月

教育委員会事務局教育部指導課
総務部男女平等推進センター

<記入上の注意>

1. 氏名は記入しないでください。
2. ボールペン、または、濃い鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、設問ごとに「○は1つ」、「○はいくつでも」、「○はそれぞれ1つ」など指定されていますので、当てはまる番号を○で囲んでください。
4. 特に指定がない設問は全員が答えてください。
5. 「その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入ください。
6. ご記入いただいた調査票は **8月20日(木)**までに返信用封筒に入れて交換で返送してください。
7. この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

総務部男女平等推進センター

直通(5952)9501

■一般的な男女平等についてお伺いします

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

n=314

- | | |
|------------------------|-------|
| 1 男女平等になっている | 7.3% |
| 2 どちらかといえば、男女平等になっている | 45.5% |
| 3 どちらかといえば、男女平等になっていない | 26.4% |
| 4 男女平等になっていない | 15.9% |
| 5 わからない | 2.2% |
| 無回答 | 2.5% |

問2 では、次の a～f の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。

各分野ごとに、1～6 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=314

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a 家庭の中で	8.9%	43.3%	35.4%	3.2%	0.6%	7.3%	1.3%
b 職場の中で(学校教育の場で)	3.5%	18.2%	63.4%	11.5%	0.3%	2.5%	0.6%
c 政治の場で	32.2%	50.0%	9.9%	1.6%	0.0%	5.7%	0.6%
d 制度や法律の上で	8.6%	36.0%	40.8%	5.7%	0.6%	7.3%	1.0%
e 社会通念・習慣・しきたりで	22.9%	54.5%	15.3%	2.5%	0.0%	4.1%	0.6%
f 地域活動の場で	7.6%	32.2%	44.9%	1.9%	0.3%	12.4%	0.6%

■仕事や家庭をめぐる考え方についてお伺いします

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

n=314

- | | |
|------------------|-------|
| 1 そのとおりだと思う | 0.6% |
| 2 どちらかといえばそう思う | 13.4% |
| 3 どちらともいえない | 35.4% |
| 4 どちらかといえばそう思わない | 14.3% |
| 5 まったくそうは思わない | 35.7% |
| 無回答 | 0.6% |

問 4 女性の一生と職業の関わり方で、あなたが最も望ましいと思われる形態はどれにあたりますか。

(○は1つ)

n=314

1 結婚するまで職業を持つ(結婚退職型)	0.3%
2 子どもができるまで職業を持つ(出産退職型)	7.6%
3 子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型)	37.6%
4 子育ての期間を含めて一生職業を持つ(職業継続型)	42.4%
5 一生職業を持たない(家事専念型)	0.0%
6 その他(具体的に:)	11.8%
無回答	0.3%

問 5 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。

また、実際の状況はどのようなですか。次の中から選んでください。

n=314

a 理想 (○は1つ)

1 「仕事」を優先	0.3%	5 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	2.5%
2 「家庭」を優先	13.1%	6 「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	2.9%
3 「地域・個人の生活」を優先	1.0%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	42.4%
4 「仕事」と「家庭」を両立	36.0%	8 その他(具体的に:)	1.6%
		無回答	0.3%

b 現実(○は1つ)

1 「仕事」を優先	66.6%	5 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	2.9%
2 「家庭」を優先	5.1%	6 「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	0.0%
3 「地域・個人の生活」を優先	0.0%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	5.1%
4 「仕事」と「家庭」を両立	19.1%	8 その他(具体的に:)	1.0%
		無回答	0.3%

問 6 社会的に配偶者(事実婚や離婚後も含む)への暴力(DV)が問題になっていますが、配偶者間で
 次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。 n=314
 次の a～l ごとに、1～3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	40.1%	52.2%	6.7%	1.0%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	62.1%	31.5%	5.7%	0.6%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	64.6%	29.9%	4.8%	0.6%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	91.1%	7.0%	1.3%	0.6%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしようなし」と言う	86.0%	11.5%	1.6%	1.0%
f なぐるふりをして、おどす	94.3%	4.8%	0.3%	0.6%
g 殴る、蹴るの暴力を振るう	99.0%	0.3%	0.0%	0.6%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	90.1%	8.3%	0.6%	1.0%
i 避妊に協力しない	86.0%	12.4%	0.6%	1.0%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	97.8%	1.6%	0.0%	0.6%
k 大声でどなる	80.9%	18.5%	0.0%	0.6%
l 生活費を渡さない	74.5%	22.0%	2.9%	0.6%

■男女共同参画社会に関する施策についてお伺いします

問 7 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は該当するものいくつかでも) n=314

1 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	49.7%
2 女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	65.6%
3 女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること	38.9%
4 女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること	48.7%
5 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	25.8%
6 家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること	76.1%
7 学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること	38.9%
8 夫や家族の理解や協力を得ること	48.7%
9 男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと	18.8%
10 その他(具体的に:)	3.2%
無回答	1.0%

問 8 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。

あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次の a～k ごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=314

	知っている	あるという ことは知 っている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	54.5%	39.8%	5.4%	0.3%
b 男女共同参画社会基本法	33.1%	47.8%	18.5%	0.6%
c 女子差別撤廃条約	22.0%	40.4%	36.3%	1.3%
d 男女雇用機会均等法(雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)	71.7%	24.8%	3.2%	0.3%
e 育児・介護休業法(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律)	65.9%	26.4%	7.3%	0.3%
f ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	26.4%	37.6%	35.7%	0.3%
g ポジティブアクション(積極的改善措置)	6.4%	25.2%	67.8%	0.6%
h DV 防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法)	56.7%	35.7%	7.3%	0.3%
i ストーカー規制法(ストーカー行為等の規制等に関する法律)	70.7%	24.5%	4.1%	0.6%
j 児童虐待防止法(児童虐待の防止等に関する法律)	82.2%	16.2%	1.0%	0.6%
k トラフィッキング(人身取引)	11.8%	37.3%	50.6%	0.3%

問 9 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次の a～g ごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=314

	知っている	あるという ことは知 っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	19.1%	34.7%	45.9%	0.3%
b 豊島区男女共同参画推進条例	15.3%	36.3%	48.1%	0.3%
c としま男女共同参画推進プラン	19.1%	38.2%	42.0%	0.6%
d 豊島区男女共同参画推進会議	10.8%	31.5%	57.3%	0.3%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	4.8%	24.2%	70.7%	0.3%
f 豊島区配偶者等暴力防止基本計画	5.7%	27.4%	66.6%	0.3%
g 虐待と暴力のないまちづくり宣言	18.8%	34.4%	46.2%	0.6%

問 10 男女共同参画社会を実現するため区は様々な事業に取り組んでいます。次の a～k の事業に区が取り組んでいることを知っていましたか。また、よくやっているといますか。

次の a～k の各事業ごとに、1～4 の中から当てはまるものを1つ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=314

		区が取り組んでいることは知っていたし、よくやっていると思う	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているとは思えない	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているかどうかはわからない	区が取り組んでいることは知らなかった	無回答
a	男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実	9.2%	5.4%	43.0%	41.4%	1.0%
b	男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援	6.1%	8.0%	43.9%	41.1%	1.0%
c	女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供	4.8%	6.7%	43.9%	43.6%	1.0%
d	仕事と育児の両立支援施策の推進	8.0%	8.9%	42.7%	39.5%	1.0%
e	地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援	5.1%	6.7%	41.4%	45.2%	1.6%
f	暴力(セクハラ・DV)の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など	12.7%	6.7%	47.8%	31.5%	1.3%
g	区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用	6.4%	6.1%	38.9%	47.5%	1.3%
h	性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援	31.2%	7.0%	38.9%	21.3%	1.6%
i	人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進	15.9%	9.9%	43.3%	29.9%	1.0%
j	性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の理解促進に向けた取り組み	5.7%	5.7%	38.9%	48.7%	1.0%
k	デートDV(恋人間で起こる、交際相手に対する暴力のこと)予防の啓発	12.1%	5.1%	32.8%	49.0%	1.0%

問 11 学校における男女平等教育の推進について、指導上大切だと思うことは何ですか。

次の a～g ごとに、1～5 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=314

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	まったくそ う思わな い	無回答
a 男女の互いの違いを認め、互いを尊重することの大切さを学ぶこと。	91.4%	6.4%	1.3%	0.3%	0.0%	0.6%
b 男女分け隔てなく、豊かな人間関係を築く力を育てること。	87.3%	9.6%	1.6%	0.6%	0.0%	1.0%
c 社会科や技術・家庭科等で、男女ともに暮らしに必要な知識や技能を学ぶこと。	73.6%	21.7%	3.2%	1.0%	0.0%	0.6%
d 教育活動の内容(※)により、男女の違いに応じた配慮をしていること。	72.3%	22.3%	3.8%	0.6%	0.0%	1.0%
e 性別による固定的な役割分担意識をなくし、一人一人の個性、能力・適性を生かした進路が選択できるようにしていること。	78.0%	17.2%	3.8%	0.3%	0.0%	0.6%
f 女性に対する偏見や暴力をはじめ、あらゆる差別をなくす人権意識を育てること。	85.4%	11.1%	2.2%	0.3%	0.0%	1.0%
g 教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること。	66.6%	24.2%	6.7%	1.3%	0.6%	0.6%

※教育活動の内容

「内科検診などの場所や時間帯を男女別にする」

「運動会の組体操や騎馬戦で身体接触のある場合には十分配慮する」等

■最後にあなたご自身のことについてお伺いします

F1 あなたの性別を教えてください。				n=314
1	女性			59.6%
2	男性			40.1%
	無回答			0.3%
F2 あなたの年齢を教えてください。				n=314
1	～29歳	23.9%	3 40～49歳	19.1%
2	30～39歳	26.4%	4 50歳以上	29.9%
	無回答	0.6%		
F3 あなたは現在、結婚していますか。				n=314
1	結婚している（婚姻届を出している）			58.6%
2	結婚している（婚姻届を出していない）			0.0%
3	結婚していない			40.4%
	無回答			1.0%
F4 あなたの職層を教えてください。				n=314
1	管理職			9.9%
2	主幹教諭			9.6%
3	主任教諭・主任養護教諭			36.9%
4	教諭・養護教諭			42.0%
	無回答			1.6%
F5 あなたの所属学校を教えてください。				n=314
1	小学校			77.1%
2	中学校			21.3%
	無回答			1.6%

ご協力ありがとうございました。

豊島区立学校教員の男女平等意識に関する調査 報告書

平成 28 年 3 月

発 行 豊島区教育委員会事務局・教育部指導課
豊島区立男女平等推進センター（エポック 10）
豊島区西池袋 2－37－4
電話 03（5952）9501